

乾式オフィス製紙機

PaperLab Q-5000

ユーザーズガイド

本書は製品の近くに置いてご活用ください。
基本的な使い方や、トラブルの対処方法などを説明しています。

もくじ

マニュアルのご案内	4
マークの意味	4
マニュアル記載の前提	4
マニュアルのご注意	4
オンラインマニュアルのご案内	4
商標	4
製品概要	4
 製品のご注意	 5
安全上のご注意	5
記号の意味	5
ラベルの貼り付け位置	6
設置上のご注意	7
取り扱い上のご注意	7
電源に関するご注意	8
消耗品に関するご注意	9
DFP の取り扱いに関するご注意	9
使用上のご注意	10
ペーパープラスカートリッジ・ペーパープラスリ フィルパックのご注意	10
本製品の不具合に起因する付随的損害	10
操作パネルの特性	10
操作パネル使用上のご注意	10
本製品の使用限定	11
本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意	11
インターネットへの接続に関するご注意（Q-5000 のみ）	11
LTE 接続について（Q-5000LTE のみ）	11
CISPR11 ClassA 注意文	11
管理者パスワードに関するご注意	12
管理者パスワードの初期値	12
管理者パスワードの入力が必要な操作	12
管理者パスワードの変更	12
管理者パスワードの初期化	12
製品型番の確認方法	12
本機の譲渡・廃棄	12
使用できる細断紙片	13
Q-40 に投入できるもの	13
Q-40 に投入してはいけないもの	13

各部の名称と働き	15
外観図	15
正面・左側面	15
内部（水回り）	16
内部（金属片・紙粉の回収）	17
内部（メンテナンス）	17
ペーパープラスカートリッジ	18
操作パネルの見方	19
メニュー一覧	20
ソフトウェアの紹介	24
Epson Cloud Solution PORT	24
Web Config（Q-5000 のみ）	24
 本機の使い方	 25
開始から終了までの流れ	25
製品を起動する	26
給水する	26
操作方法	26
紙片を投入する	27
製紙設定をする	27
用紙種類の選択	27
製紙枚数の設定方法	28
製紙を開始する	28
製紙前の確認	28
運転開始	28
DFP の排紙	29
製紙を停止する	29
製紙をキャンセルする	29
製品を停止する（終業時の停止）	30
 メンテナンス	 31
メンテナンス作業と作業頻度	31
メンテナンスバッグを交換する（紙粉の回収）	32
用意するもの	32
交換方法	32
通風口フィルターを清掃する	32
用意するもの	32
清掃方法	33

磁石ユニットを清掃する（金属片回収磁石の清掃）	34
用意するもの	34
清掃方法	34
水回りを清掃する	34
用意するもの	34
清掃方法	34
長期停止前の準備	35
用意するもの	35
準備手順	35

ペーパープラスカートリッジの交換 ... 36

ペーパープラスカートリッジ・ペーパープラスリフィルパック交換時のご注意	36
ペーパープラスカートリッジを交換する	36
用意するもの	36
ペーパープラスカートリッジを取り外す	37
ペーパープラスリフィルパックを交換する	38
ペーパープラスカートリッジを取り付ける	40

こんなときには 41

エラーメッセージが表示された	41
状態表示ランプの意味	41
エラーの表示の見方	42
エラーメッセージの対処方法	42
トラブルシューティング	43
電源のトラブル	43
製紙のトラブル	43
その他のトラブル	44
緊急時の停止	44
主電源スイッチをロックする	45
ファームウェアを更新する	45
操作パネルを使ってファームウェアを更新する	45
インターネットに接続しないでファームウェアをアップデートする	46

製品仕様 47

本体仕様	47
有線 LAN の仕様（Q-5000 のみ）	48
LAN ケーブルを接続する	49
全ての安全機能のリストと説明	50

外観と必要スペース	51
外観	51
必要スペース	51
本製品を移動/輸送するときは	52
消耗品一覧	52
オープンソースソフトウェアライセンス	52
お問い合わせ先	53
コールセンター	53

マニュアルのご案内

マークの意味

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

！重要

必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容が無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考

補足情報や参考情報を記載しています。

マニュアル記載の前提

- 本書で使われているイラストや画面は一例です。実際の製品や設定、状況により異なります。
- 本書では、本製品で生成した紙を「DFP (Dry Fiber Paper)」と表記しています。

マニュアルのご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

オンラインマニュアルのご案内

マニュアルの最新版はエプソンのホームページから入手できます。

インターネットブラウザで epson.sn と入力してから、お使いの製品目を入力して  をクリックします。



商標

- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

製品概要

PaperLab Q-5000 では、PaperLab Q-40 にて細断した紙片を本機に投入することで、DFP を生み出します。PaperLab Q-40 では、使用済みの紙を PaperLab Q-5000 で再生するために適した形状、かつ機密内容が判読できなくなるレベルまで細かく細断することができます。このプロセスにより、さまざまな場所から安心して古紙を回収して DFP を生み出すことができ、その結果、複数の企業間や自治体を中心とした地域社会の皆さまをつなぐ、新たな紙循環サイクルを実現します。

製品のご注意

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品のマニュアルをお読みください。本製品のマニュアルの内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。

本製品のマニュアルは、製品の不明点をいつでも解決できるよう手元に置いてお使いください。

記号の意味

本書および製品には、安全に製品をお使いいただき、危害や損害を未然に防止するために、以下のマークが使われています。マークの意味は次の通りです。

安全に関するマーク

	一般禁止
	分解禁止
	濡れ手禁止
	接触禁止
	水濡れ禁止
	一般指示
	アース線を接続
	感電注意

	切断（全電源プラグ）
	保護メガネの着用指示
	マスクの着用指示
	手袋の着用指示

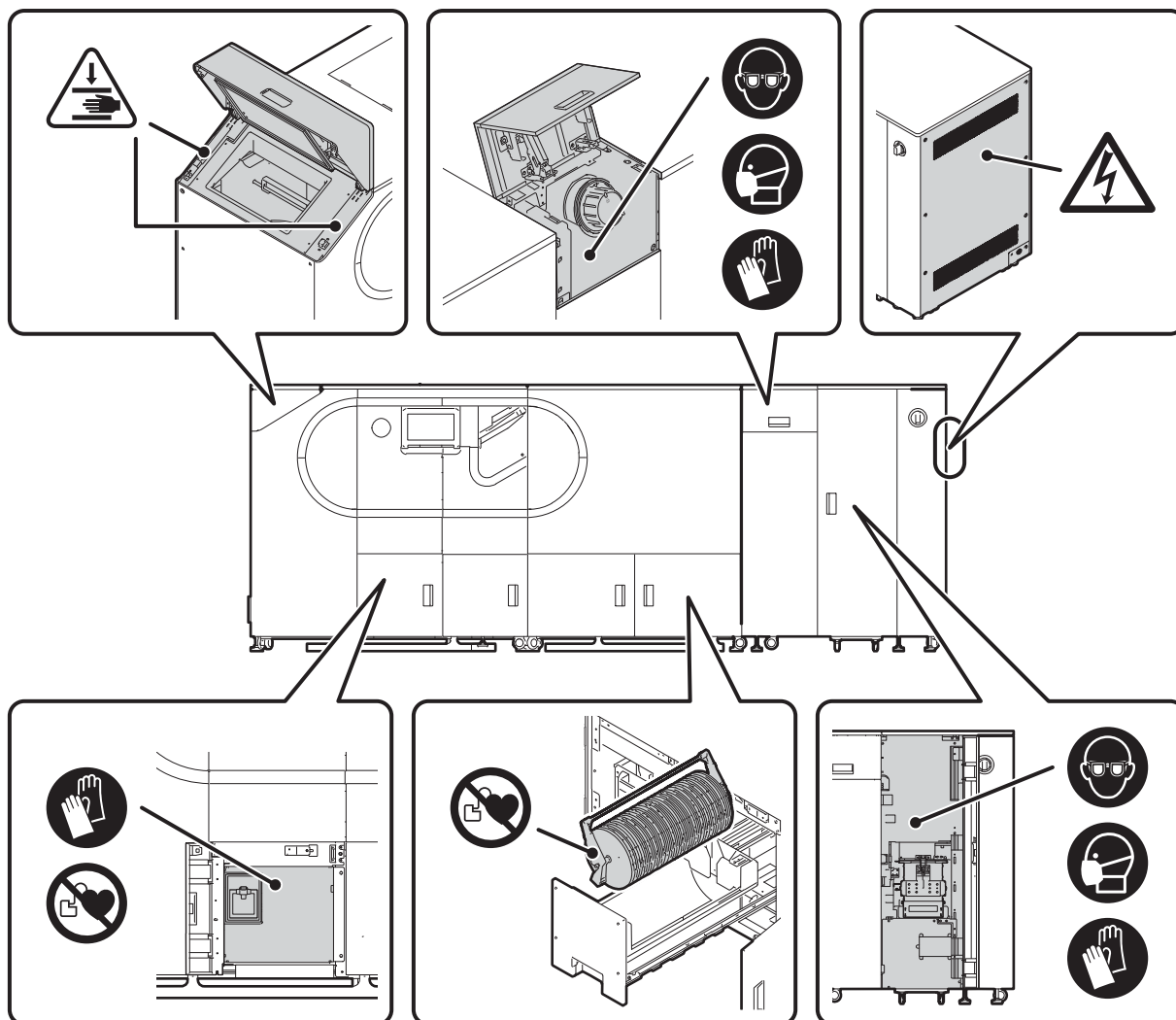
製品上のマーク

本機には危険な場所がすぐわかるように、警告ラベルが貼られています。

本機に貼り付けられている警告ラベルは絶対に剥がさないでください。警告ラベルが読めなくなったり、剥がれたりした場合は、コールセンターに連絡し、新しいラベルと交換してください。

	ペースメーカー等の使用者の接近禁止
	感電注意
	挟み込み注意
	保護メガネの着用指示
	マスクの着用指示
	手袋の着用指示

ラベルの貼り付け位置



設置上のご注意

⚠ 警告	
	本製品の通風口を塞がないでください。 通風口を塞ぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。 布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。 また、マニュアルで指示された設置スペースを確保してください。 ☞ 「必要スペース」 51 ページ

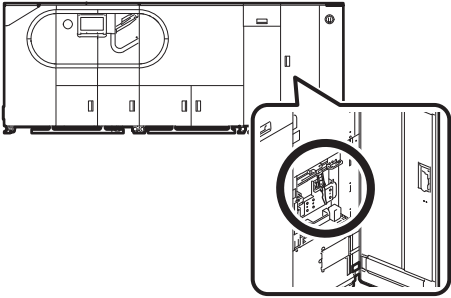
⚠ 注意	
	ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に設置しないでください。 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
	油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	本製品を移動する際は、コールセンターに連絡してください。 ☞ 「お問い合わせ先」 53 ページ

取り扱い上のご注意

⚠ 警告	
	アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、コールセンターに相談してください。
	お客様による修理は絶対にしないでください。
	可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。 また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 引火による火災のおそれがあります。
	各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。 発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。

⚠ 警告	
	開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
	安全装置を故意に取り外したり、機能が働かないようにして使用しないでください。 誤作動の原因になり、身体が危険にさらされたり、本製品が破損する恐れがあります。
	製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。 感電や火傷のおそれがあります。
	異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、コールセンターに相談してください。
	操作パネルのディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。 万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。 • 皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。 • 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。 • 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。

⚠ 注意	
	本製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。 倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。
	電源投入時および製紙中は、排紙ローラー部およびファンに指を近付けないでください。 指や衣類が排紙ローラーおよびファンに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。DFP は、完全に排紙されてから手に取ってください。
	詰まった DFP を取り除く際は、用紙を無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。 急に用紙が引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。
	カバーの開閉の際は、カバーと本体との接合部（継ぎ目）に手を近付けないでください。 指や手を挟んで、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意	
	メンテナンスバッグからこぼれた紙粉を家庭用の掃除機で吸い取らないでください。 こぼれた紙粉を家庭用の掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより、内部に吸い込まれた紙粉が粉じん発火するおそれがあります。 紙粉がこぼれてしまった場合は、水で濡らして固く絞った布で紙粉を拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉じん爆発安全対策仕様の電気掃除機を使用してください。
	各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。
	レバー類は注意して操作してください。 レバーを勢いよく操作すると、指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。 - メンテナンスボックスのレバー  - 紙が詰まったときに操作するレバー
	マニュアルで指示された箇所では、保護メガネ、マスク、手袋を着用してください。
	メンテナンスバッグを回収するときは、保護メガネ、マスク、手袋などを着用してください。 紙粉が皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。 - 皮膚に付着したときは、石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。 - 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。 - 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。 - 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ることがあり危険です。
	磁石ユニットを清掃するときは、手袋などを着用してください。 クリップやホチキスなどの金属片で手を切るおそれがあります。

電源に関するご注意

⚠ 警告	
	AC200V 以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、コールセンターに相談してください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 - 電源コードを加工しない - 電源コードに重いものを載せない - 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない - 熱器具の近くに配線しない
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。
	電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。 感電・火災のおそれがあります。
	電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
	電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。
	新たにアースを接続する場合は、コールセンターにご相談ください。
	本体から 2.5m の範囲内にフェンスやはしごなどの導電物がある場合は、導電物を接地接続してください。
	異常が発生したときは、電源プラグを全て抜き電源を完全に遮断してください。 感電・火災のおそれがあります。

⚠ 注意	
	長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

消耗品に関するご注意

ペーパープラスカートリッジ・ペーパープラスリフィルパックのご使用前に、安全データシート（SDS）をお読みください。

ペーパープラスリフィルパックの安全データシートについては、コールセンターにお問い合わせください。

☞ 「お問い合わせ先」 53 ページ

⚠ 警告	
	ペーパープラスカートリッジ・ペーパープラスリフィルパックを火の中に入れてください。ペーパープラス（結合素材）が飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。
	こぼれたペーパープラス（結合素材）を家庭用の掃除機で吸い取らないでください。 こぼれたペーパープラスを家庭用の掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより、内部に吸い込まれたペーパープラスが粉じん発火するおそれがあります。 床などにこぼれてしまったペーパープラスは、ほうきで掃除するか、水で濡らして固く絞った布で拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉じん爆発安全対策仕様の電気掃除機を使用してください。

⚠ 注意	
	ペーパープラスカートリッジ・ペーパープラスリフィルパックは振らないでください。 振ったり振り回したりすると、ペーパープラス（結合素材）が漏れるおそれがあります。 誤って振ってしまった場合は、安定した場所に置いて3分以上放置してください。 以下の注意事項もお読みください。 ☞ 「ペーパープラスカートリッジ・ペーパープラスリフィルパックのご注意」 10 ページ ☞ 「ペーパープラスカートリッジ・ペーパープラスリフィルパック交換時のご注意」 36 ページ
	こぼれたペーパープラス（結合素材）を吸引したり、皮膚に触れたりしないようにしてください。 処理時には保護メガネ、マスク、手袋を着用してください。また、処理者以外の人を安全な場所に移動させてください。
	ペーパープラス（結合素材）は飲まないでください。

⚠ 注意	
	ペーパープラス（結合素材）が皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。 • 皮膚についたときは、水や石けんでよく洗い流してください。 • 目に入ったときは、すぐに水で洗い流し、速やかに医師に相談してください。 • 口に入ったときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。 • 吸引してしまったときは、新鮮な空気のある場所に移動させ、暖かくして休ませてください。
	ペーパープラスカートリッジ・ペーパープラスリフィルパックは、子どもの手の届かない場所に保管してください。 取り扱いを誤ってけがをしたり、ペーパープラス（結合素材）が漏れたりするおそれがあります。
	ペーパープラスカートリッジ・ペーパープラスリフィルパックを交換するときは、保護メガネ、マスク、手袋などを着用してください。

DFP の取り扱いに関するご注意

⚠ 注意	
	DFP の端を手でこすらないでください。 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。
	生成した DFP に印刷中、プリンター内で紙詰まりが発生したときは、DFP を取り除くときに無理な力を加えないようにご注意ください。 本製品で生成した DFP は破れやすいため、DFP が破れてプリンター内部に残ってしまい、プリンターが故障するおそれがあります。 詰まった用紙の取り除き方は、ご使用のプリンターのマニュアルをご確認ください。

使用上のご注意

- 本製品を設置した部屋の温度を急激に変化させないでください。製品内部に水滴（結露）が発生し、動作に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 本製品の上に水の入った花瓶やコップを置かないでください。本製品内に水が入ると故障の原因になります。
- 本製品の運転中は、本体正面右側の主電源スイッチを切らないでください（異常事態発生時を除く）。処理が中断され、故障の原因となります。
- 本製品のメンテナンスでは、マニュアル内で指示した道具を使ってください。
🔧 [「メンテナンス作業と作業頻度」31 ページ](#)
- 本製品に貼られている警告ラベルは、絶対に剥がさないでください。

ペーパープラスカートリッジ・ペーパープラスリフィルパックのご注意

- DFP の品質を保つために、ペーパープラスリフィルパックは以下の期日のうち早い方の期日までに使い切ってください。
 - ペーパープラスリフィルパックに記載された製造年月日から 3 年（未開封の場合）
 - ペーパープラスリフィルパックを開封した日から 6 カ月
- ペーパープラスカートリッジを改造しないでください。
- ペーパープラスカートリッジは、落とすなどの強い衝撃を与えないでください。ペーパープラスカートリッジからペーパープラス（結合素材）が漏れることがあります。
- 本製品の保管環境と同じ環境下（温度 4～40℃/湿度 10% RH～85% RH）で保管してください。また、直射日光を避けてください。

- ペーパープラスカートリッジ・ペーパープラスリフィルパックを寒い所から暖かい所に移したときは、4 時間以上室温に放置し、結露がないことを確認してから使用してください。

！重要

ペーパープラスリフィルパックを乾燥させるときに、電子レンジなどで加熱しないでください。ペーパープラスリフィルパックの袋が破損したり、ペーパープラス（結合素材）が変性・劣化したりするおそれがあります。

- ペーパープラスリフィルパックは交換するまで開封しないでください。
- 廃棄する場合は、可燃性の廃棄物として、必ず法令や地域の条例・自治体の指示に従って廃棄してください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含む。以下同じ。）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

操作パネルの特性

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

操作パネル使用上のご注意

- パネルは指でタッチしてください。指で触れたときのみ動作します。
- 指以外で操作したとき、濡れた指や手袋をした手で操作したとき、パネル上に保護シートやシールが貼られた状態で操作したときは、動作しないことがあります。
- ボールペンやシャープペンシルなどの先のとがったもので操作しないでください。パネルを傷付けるおそれがあります。

- パネルが汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は使わないでください。パネルの表面を傷めることがあります。
- 急激に温度、湿度が変化する環境で使用しないでください。パネル内部に結露が発生し、性能が劣化する原因になります。
- パネルを強く押さえ付けたり、強い衝撃を与えたりしないでください。パネルが割れるおそれがあります。割れてしまったときは、破片に触れたりパネルを取り外そうとしたりせず、コールセンターにご連絡ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

インターネットへの接続に関するご注意 (Q-5000 のみ)

Q-5000 のネットワークインターフェイスは、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットサービスプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。

本製品をインターネットへ接続する際は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

セキュリティの観点から、本製品はインターネットに直接接続せず、ルーターやファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。

LTE 接続について (Q-5000LTE のみ)

Q-5000LTE のネットワークインターフェイスは、LTE 通信により電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットサービスプロバイダ等）の通信回線に直接接続できます。

LTE 接続のトラブルが発生した場合は、コールセンターにお問い合わせください。

☞ [「お問い合わせ先」 53 ページ](#)

参考

ご使用の製品が LTE 接続に対応しているかどうかは、本体右側面の右下にある銘板に記載されている製品型番で確認できます。製品型番が「PaperLab Q-5000LTE」の場合は LTE 接続に対応しています。

☞ [「製品型番の確認方法」 12 ページ](#)

CISPR11 ClassA 注意文

⚠ 注意

本機は住宅環境での使用を目的としていないため、そのような環境では無線受信を適切に保護できない場合があります。

管理者パスワードに関する ご注意

本製品はネットワーク接続時に、製品本体に保持されている本体設定やネットワーク設定が第三者から不正に参照されたり、変更されたりすることを防ぐため、管理者パスワードの設定ができます。

管理者パスワードを設定しておく、Web Config などの設定ソフトウェアで設定の変更をするときにパスワードの入力が必要になります。

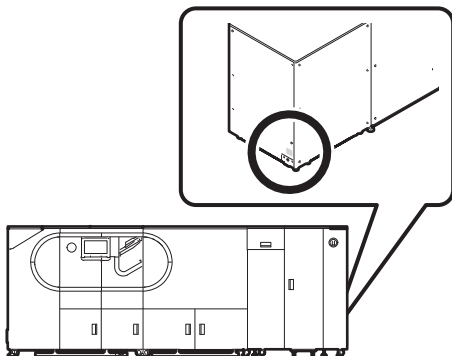
製品本体に管理者パスワードが初期設定されていますが、任意のパスワードを設定することができます。

管理者パスワードの初期値

管理者パスワードの購入時の設定（初期値）は、製品本体の製造番号（シリアルナンバー）です。

シリアルナンバーは以下の手順で確認できます。

- ホーム画面で [MENU] - [機器情報] - [シリアルナンバー] の順にタップする
- 本体右側面の右下にある銘板を確認する



管理者パスワードを初期値から変更することをおすすめします。

参考

ユーザー名の初期値は空欄です。

管理者パスワードの入力が必要な操作

以下の操作で管理者パスワードの入力を要求されたときは、製品本体に設定されている管理者パスワードを入力してください。

- Web Config の詳細設定にログオンするとき
- 操作パネルで管理者ロックがかかったメニューを操作するとき

- 本体のファームウェアをアップデートするとき
- 管理者パスワードの変更や初期化をするとき

管理者パスワードの変更

製品の操作パネル、および Web Config から変更できます。

パスワードを変更する場合は、8 文字以上 20 文字以下の半角英数字および記号で設定してください。

管理者パスワードの初期化

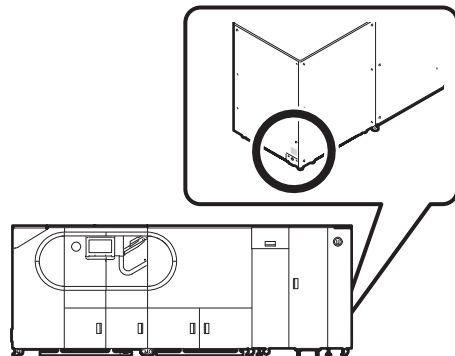
製品の操作パネルおよび Web Config で、管理者パスワードを初期設定に戻すことができます。パスワード忘れにより、初期設定に戻せない場合は修理が必要です。コールセンターにお問い合わせください。

参考

管理者パスワードを初期化すると、ユーザー名も初期化されます。

製品型番の確認方法

製品型番はお問い合わせの際に必要です。製品型番は本体右側面の右下にある銘板で確認できます。



本機の譲渡・廃棄

- 本機を譲渡・廃棄する前に、本機に保存されている情報を消去してください。ホーム画面で [MENU] - [管理者用設定] - [初期設定に戻す] - [全て初期化] の順にタップすると消去できます。
- 本機を譲渡・廃棄するときは、お買い求めの販売店またはコールセンターにお問い合わせください。

使用できる細断紙片

本機では、Q-40 で細断した紙片のみ使用できます。

！重要

Q-40 で細断した紙片以外のものを使用すると、製品が故障する、紙詰まりが発生する、本機で生成した DFP の品質が悪くなる、などのおそれがあります。

 [「生成された DFP の状態がおかしい」 43 ページ](#)

Q-40 に投入できるもの

- コピー用紙
- 本機で生成した DFP（ただし、繰り返し再生すると紙のコシが弱くなります）

Q-40 に投入してはいけないもの

！重要

以下の用紙・素材は Q-40 に投入しないでください。製品が故障する、細断時に紙片が詰まる、本機で生成した DFP の品質が悪くなる、などのおそれがあります。

紙ではないもの

ビニール	クリアファイル	OHP フィルム	窓付封筒	布	フィルム
					

コピー用紙以外の紙

コート紙(チラシ、カレンダーなど)	カーボン紙、裏カーボン紙	感熱紙	和紙、羊皮紙、わら半紙、色紙	新聞紙、包装紙	写真
					

- 本機で生成された規格外の DFP

 [「DFP の排紙」 29 ページ](#)

紙以外のものが付いているコピー用紙

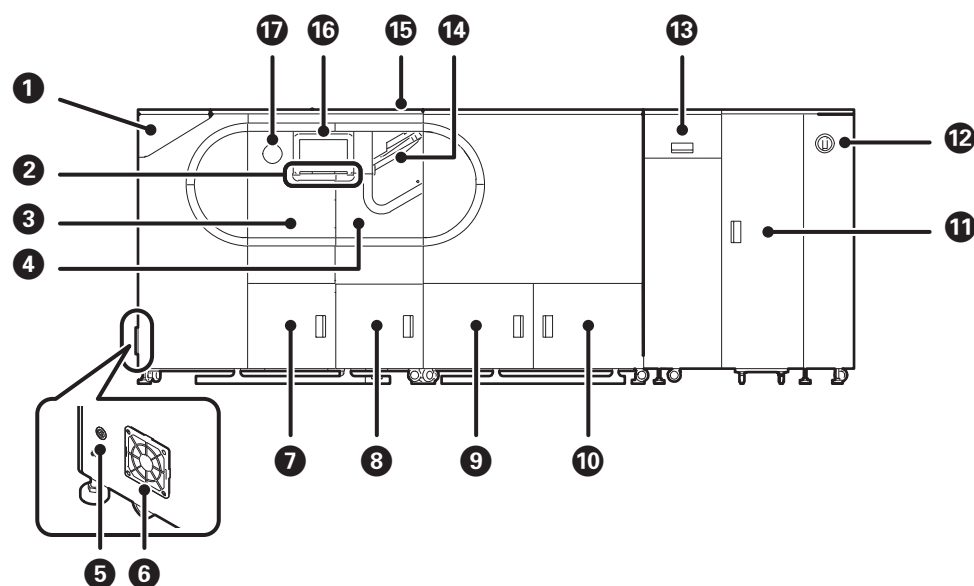
クリップやホチキス留め	粘着物がついた紙	油や液体で汚れている
		

- コピー用紙がホチキスやクリップで綴じられている場合は、外すか、ホチキスで綴じてある部分を切り落としてください。
- コピー用紙に貼られている付箋紙やラベルはきれいに剥がしてください。ラベルが剥がれない、糊やラベルの一部など、粘着物が残ってしまった場合は投入しないでください。

各部の名称と働き

外観図

正面・左側面

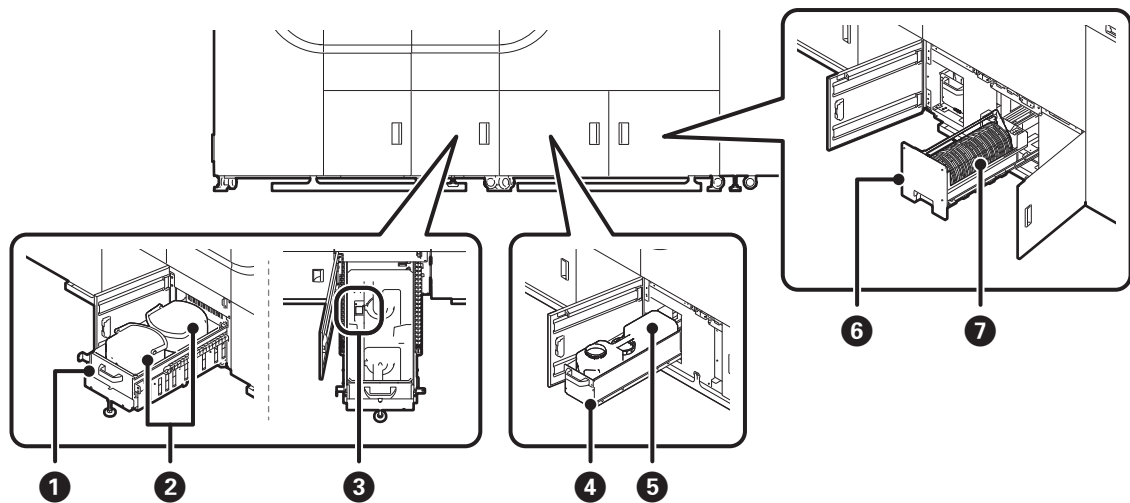


記号	名称	説明
①	カバー A	細断紙片を投入するときに開けます。
②	状態表示ランプ	本機の運転状態をお知らせします。 ☞ 「状態表示ランプの意味」 41 ページ
③	カバー D	紙詰まりのときやファームウェアをアップデートするときに開けます。 ☞ 「内部（メンテナンス）」 17 ページ
④	カバー E	
⑤	LAN ポート (Q-5000 のみ)	LAN ケーブルを接続するためのポートです。 ☞ 「LAN ケーブルを接続する」 49 ページ
⑥	通風口	内部で発生する熱を放出します。通風口は塞がないでください。
⑦	カバー F	クリップやホチキスの針などの金属片を取り除くときに開けます。 ☞ 「内部（金属片・紙粉の回収）」 17 ページ カバー F 内部に収納されている磁石ユニットには強力な磁石が使用されています。心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、カバー F を開けたり内部のユニットを操作したりしないでください。 ☞ 「磁石ユニットを清掃する（金属片回収磁石の清掃）」 34 ページ
⑧	カバー G	給水タンクに水を補給するときに開けます。 ☞ 「内部（水回り）」 16 ページ
⑨	カバー H	本機内の水を排水するときに開けます。 ☞ 「内部（水回り）」 16 ページ
⑩	カバー I	加湿ユニットを清掃するときに開けます。 ☞ 「内部（水回り）」 16 ページ

各部の名称と働き

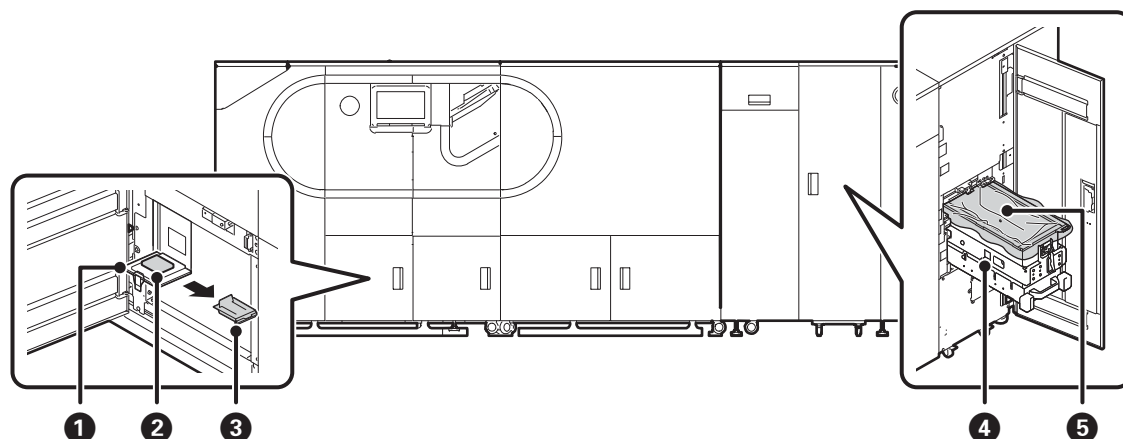
記号	名称	説明
⑪	カバー J	メンテナンスバッグを交換するときに開けます。 ☞ 「内部（金属片・紙粉の回収）」 17 ページ
⑫	主電源スイッチ	【ON】にすると製品が通電状態になります。通電を止めるためには【OFF】にします。 通常は、ホーム画面で [MENU] - [電源を切る] の順に選択して終了処理を開始し、終了処理が終わってから電源を【OFF】にしてください。 ☞ 「製品を停止する（終業時の停止）」 30 ページ
⑬	カバー C	ペーパープラスカートリッジを交換するときに開けます。 ☞ 「内部（メンテナンス）」 17 ページ
⑭	下排紙トレイ	DFP が排紙されます。
⑮	カバー B	規格外の DFP を取り出すときに開けます。 ☞ 「内部（メンテナンス）」 17 ページ
⑯	操作パネル	本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどを表示するタッチパネルです。 ☞ 「操作パネルの見方」 19 ページ
⑰	リングランプ	動作中に点灯・回転表示します。スリープモード中は消灯します。

内部（水回り）



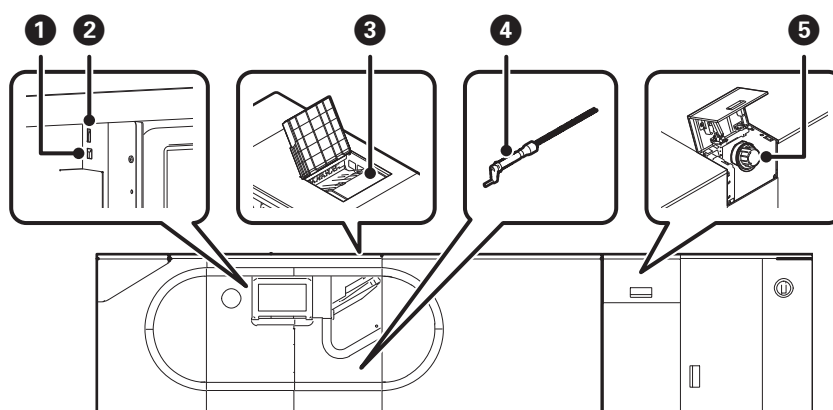
記号	名称	説明
①	給水タンクトレイ	給水タンクを格納します。
②	給水タンク	製紙のときに水を供給するためのタンクです。
③	フロート	給水タンクの水の残量を確認するためのセンサーです。
④	排水タンクトレイ	排水タンクを格納します。
⑤	排水タンク	排水をためるタンクです。
⑥	加湿ユニット	製紙に必要な水蒸気を発生させるユニットです。
⑦	加湿ディスク	

内部（金属片・紙粉の回収）



記号	名称	説明
①	磁石ユニット	クリップやホチキスの針などの金属片を取り除くときに開けます。
②	磁石	細断紙片に混入したクリップやホチキスの針などの金属片を吸着する磁石です。
③	内部カバー	磁石を保護するカバーです。 クリップやホチキスの針などの金属片を取り除くときに取り外します。
④	トレイ	メンテナンスバッグをセットします。
⑤	メンテナンスバッグ	紙粉を回収するための袋です。 📖 「消耗品一覧」 52 ページ

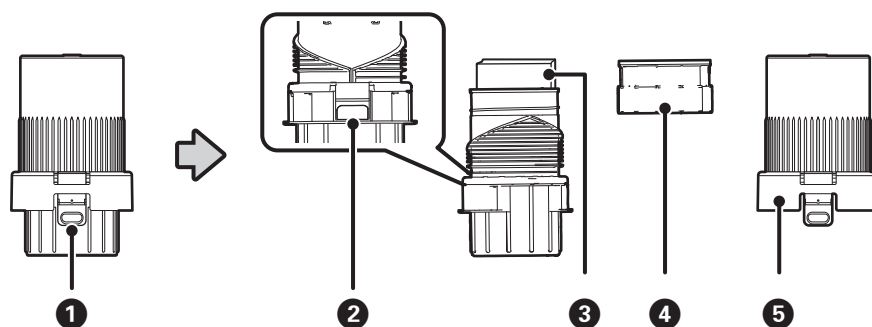
内部（メンテナンス）



記号	名称	説明
①	USB-B ポート	コンピューターと本機を USB ケーブルで接続するためのポートです。ファームウェアのバージョンアップに使用します。 USB ケーブルは、USB2.0 タイプ A-B またはタイプ C-B を使用します。 📖 「ファームウェアを更新する」 45 ページ
②	USB-A ポート	サービスエンジニアの点検などに使用するポートです。
③	上排紙トレイ	規格外の DFP が排出されます。

記号	名称	説明
④	用紙除去棒	詰まった DFP を取り除くときに使用します。 カバー E 内に収納されています。
⑤	ペーパープラスカートリッジ	ペーパープラスリフィルパックを入れるカートリッジです。 🔗 「ペーパープラスカートリッジ」 18 ページ

ペーパープラスカートリッジ

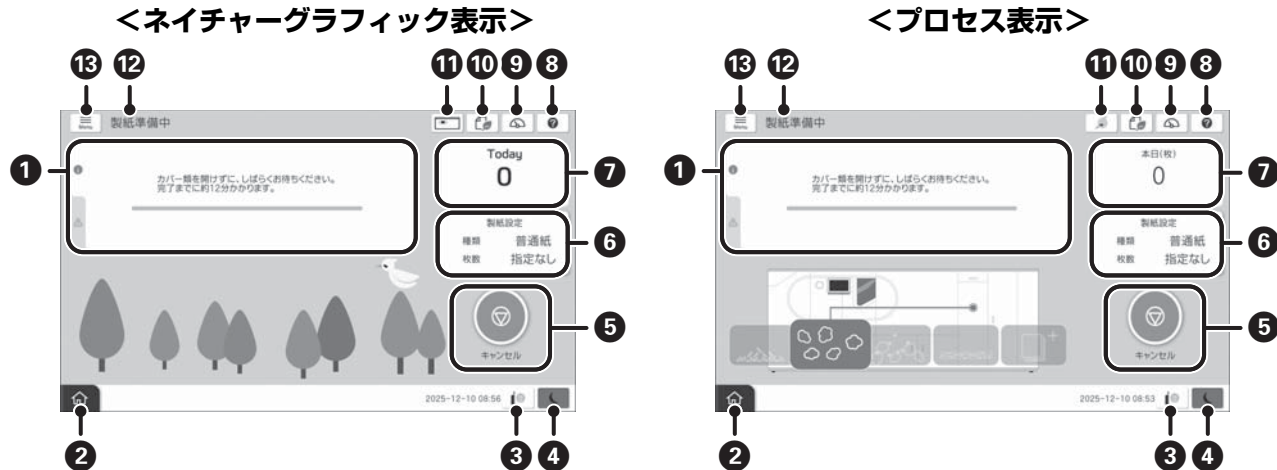


記号	名称	説明
①	ロックレバー	本機からペーパープラスカートリッジを取り外すときに操作します。
②	ロック	ペーパープラスカートリッジのカバーを取り外すときに操作します。
③	ペーパープラスリフィルパック	DFP を生成するためのペーパープラス（結合素材）が入っています。 🔗 「消耗品一覧」 52 ページ
④	中ぶた	ペーパープラスリフィルパックを補充するときに取り外します。
⑤	カバー	

操作パネルの見方

本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどを表示するタッチパネルです。

操作パネルの  または （画面切り替え）をタップすると、画面のデザインを切り替えられます。



記号	名称	説明
①	情報表示	本機の情報が表示されます。 ワーニングが発生したりメンテナンスが必要になったりしたときにはメッセージが表示されます。メッセージをタップすると操作方法を確認できます。
②	ホーム	メニュー表示中にタップするとホーム画面に戻ります。
③	ネットワーク (Q-5000 のみ)	ネットワークの接続状態を示します。アイコンをタップすると、現在の設定の確認や変更ができます。 Q-5000LTE では表示されません。
		 有線 LAN 非接続、ネットワーク未設定  有線 LAN 接続中
④	スリープ	画面のオン・オフを切り替えます。
⑤	スタート/キャンセル	「スタート」をタップすると製紙が開始されます。 製紙中は「キャンセル」が表示されます。「キャンセル」をタップすると製紙が停止されます。
		 スタート  キャンセル
⑥	製紙設定	製紙する用紙の種類と指定した製紙枚数が表示されます。設定を変更したいときに、このエリアをタップします。タップすると、メニューの【製紙設定】画面が表示されます。
⑦	製紙枚数（累計）/製紙枚数（本日）	製紙された累計枚数、または当日に製紙された枚数が表示されます。製紙開始前（待機中画面）にこのエリアを左右にフリックすると、累計枚数と本日の枚数の表示を切り替えることができます。
⑧	ヘルプ	操作方法やトラブル発生時の対応方法を確認できます。
⑨	環境温湿度	使用環境の温度と湿度を確認できます。

各部の名称と働き

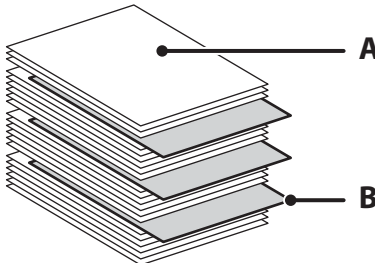
記号	名称	説明
⑩	環境効果	製紙枚数の累計と、本機の使用によってもたらされた環境効果値を確認できます。
⑪	画面切り替え	画面のデザインを切り替えるときにタップします。
		 [ネイチャーグラフィック表示] のときに表示されます。
		 [プロセス表示] のときに表示されます。
⑫	運転状態表示	本機の運転状態が表示されます。
⑬	メニュー	本機の設定をするときにタップします。  「メニュー一覧」 20 ページ

メニュー一覧

本機の設定をしたり、本機のお手入れ方法を確認したりできます。

項目		説明
機器のお手入れ	給水方法の確認	給水タンクへの給水方法を表示します。
	紙粉の回収	メンテナンスバッグの交換手順を表示します。
	通風口の清掃	通風口フィルターの清掃後、通知をリセットします。
	金属片回収磁石の清掃	磁石ユニットの清掃方法を表示します。
	水回りの清掃	水回りの清掃方法を表示します。
	長期停止の準備	本機を長期間使用しないときのお手入れ方法を表示します。

各部の名称と働き

項目		説明	
製紙設定	用紙種類	製紙する用紙の種類を〔普通紙〕または〔厚紙〕から選択します。 🔗 「用紙種類の選択」 27 ページ	
	枚数指定	〔オフ〕のときは、投入した細断紙片の残量が少なくなると自動で生成を停止します。 必要な枚数だけ製紙したいときに〔オン〕にします。〔オン〕にすると、製紙の枚数を 50～999 枚の間で指定できます。 🔗 「製紙枚数の設定方法」 28 ページ	
	合紙	一定の枚数ごとに合紙（あいし）を一枚挿入できます。合紙を挿入すると、DFP の枚数管理が容易になります。 この機能では、合紙を挟むタイミング（枚数）を設定します。 〔製紙設定〕 - 〔用紙種類〕で〔厚紙〕を設定したときは、本機能は使用できません。 参考 - 本機では、合紙は通常の DFP から数 cm ずれた位置に排紙されます。  A: DFP B: 合紙 - 合紙は規格外の DFP として扱ってください。 合紙には曲がり癖がつくため、プリンターでの使用には適していません。 🔗 「DFP の排紙」 29 ページ	
基本設定	画面の明るさ設定	画面の明るさを調整します。	
	スリープ移行時間設定	本機が動作していない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。設定した時間が過ぎると操作パネルが暗くなります。	
	日付/時刻設定	日付と時刻を設定します。必要に応じて時差を設定できます。	
	言語選択/Language	画面に表示する言語を選択します。	
	画面スタイル	ホーム画面のデザインを切り替えます。	
		ネイチャーグラフィック表示	環境貢献状況が視覚的に伝わりやすい画面が表示されます。
	プロセス表示	シンプルな画面が表示されます。	
	温度単位	温度単位を℃または°Fに切り替ええます。	

各部の名称と働き

項目		説明	
ネットワーク設定 (Q-5000 のみ)	ネットワーク情報	有線接続状態	ネットワークの情報を表示します。
	詳細設定	ネットワークに関する詳細な設定ができます。	
		デバイス名	デバイス名を 2～53 文字で変更します。
		TCP/IP	固定 IP アドレスの場合は、IP の設定をします。自動で割り当てる場合は、DHCP 機能によって割り当てられた IP アドレスを使用します。手動で設定する場合は、[手動] に変更して割り当てたい IP アドレスを入力します。
		プロキシサーバー	お使いのネットワーク環境でプロキシサーバーを使用していて本機にも設定したい場合にこの設定をします。
		IPv6 アドレス	IPv6 アドレスを有効にするかどうかを設定します。
		Link Speed & Duplex	適切な有線 LAN の速度と duplex の設定を選択します。自動以外を選択した場合、ご使用のハブに合った設定になっているかを確認してください。
		HTTP を HTTPS にリダイレクト	HTTP から HTTPS へのリダイレクトを有効にするか無効にするかを設定します。
		IPsec/IP フィルタリングの無効化	IPsec/IP フィルタリングの設定を無効にします。
		IEEE802.1X の無効化	IEEE802.1X の設定を無効にします。

各部の名称と働き

項目		説明
管理者用設定	カット長の調整	DFP の短辺の長さを微調整します。
	厚紙調整	製紙時のパラメーターを-3〜3 の範囲で設定できます。 表面強度が低いときは、数値を大きくしてください。ただし、カールが強くなります。 カールが強いときは、数値を小さくしてください。ただし、表面強度が低くなります。
	セキュリティ設定	機能制限 管理者以外のユーザーが使用できる機能を制限できます。 • [水回りの清掃の許可] • [長期停止の準備の許可] • [電源オフの許可] • [製紙設定の変更許可]
		管理者設定 • [管理者パスワード] 管理者だけが本機の設定を変更できるように、パスワードを設定します。パスワードは 8〜20 文字の半角英数字および記号で設定してください。  「管理者パスワードに関するご注意」 12 ページ • [管理者ロック] オンにすると、設定変更時に管理者パスワードの入力が必要になります。
		パスワード暗号化 オンにすると、パスワードを暗号化します。 再起動中に電源を切ると、データが損傷して、本機の設定が初期化されるおそれがあります。その場合は、パスワードを再設定してください。
		起動時のプログラム検証 オンにすると、起動時にファームウェアが改ざんされていないかを検証します。問題が検出された場合、起動を停止してファームウェアのアップデートを促します。
	初期設定に戻す	本機の設定を購入時の状態に戻します。
		ネットワーク設定 (Q-5000 のみ) ネットワークに関する設定を購入時の状態に戻します。 有線 LAN をお使いの場合のみ使用できます。
		全て初期化 全ての設定を購入時の状態に戻します。
	ファームウェアのアップデート	現在のバージョンやアップデート可能なファームウェアなど、本機のファームウェア情報を確認できます。
		現在のバージョン ファームウェアのバージョンを表示します。
		通知設定 オンにすると、ファームウェアアップデートアイコンをホーム画面に表示します。
機器情報	型番	本機の型番を確認できます。
	シリアルナンバー	本機のシリアルナンバーを確認できます。
	環境効果	製紙枚数の累計と、本機の使用によってもたらされた環境効果値を確認できます。
	環境温湿度	使用環境の温度と湿度を確認できます。
電源を切る		本機の電源をオフにします。 この項目から電源をオフにして、終了処理が完了するまで主電源スイッチを【OFF】にしないでください。

ソフトウェアの紹介

Epson Cloud Solution PORT



機能概要

Epson Cloud Solution PORT では、Epson Cloud Solution PORT に接続した PaperLab の稼働情報などを確認できます。

項目	説明
PaperLab 環境効果値	製紙枚数の累計と、PaperLab の使用によってもたらされた環境効果を確認できます。
PaperLab プロダクションレポート	製紙実績を確認できます。 また、Q-40 がネットワーク接続されているときは、Q-40 で細断した紙片の累積量も確認できます。
PaperLab ステータスマニター	本機の状態を確認できます。
マイデバイス	Epson Cloud Solution PORT に接続した PaperLab の管理情報を確認できます。

使用方法

Epson Cloud Solution PORT の起動方法や使用方法は「Epson Cloud Solution PORT 操作ガイド」をご覧ください。

Web Config (Q-5000 のみ)

機能概要

Web Config (ウェブ コンフィグ) は、コンピューターやスマートデバイスなどの機器から Web ブラウザー上で起動できるソフトウェアです。

本機の状態の確認や設定変更、Epson Cloud Solution PORT の設定などができます。



Q-5000LTE では、Web Config は使用できません。

Web Config を起動する方法

本機と同一のネットワークに接続しているコンピューターの Web ブラウザーで起動します。

- 1 本機の IP アドレスを確認します。**
ホーム画面で [MENU] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報] - [有線接続状態] の順に選択して、本機の IP アドレスを確認します。
- 2 本機とネットワークで接続されているコンピューターで Web ブラウザーを起動します。**
- 3 Web ブラウザーのアドレスバーに本機の IP アドレスを入力して、[Enter] または [Return] キーを押します。**
- 4 Web Config の管理者としてログオンします。**
画面の右上の [ログオン] をクリックします。[ユーザー名] と [現在のパスワード] を入力し、[確認] をクリックします。
Web Config の管理者情報の、購入時の設定（初期値）は以下の通りです。

ユーザー名	なし（空欄）
パスワード	本機の製造番号（シリアルナンバー）

製造番号（シリアルナンバー）は以下の手順で確認できます。

- ・ホーム画面で [MENU] - [機器情報] - [シリアルナンバー] の順にタップする
- ・本体右側面の右下にある銘板を確認する

終了方法

Web ブラウザーを終了します。

本機の使い方

開始から終了までの流れ

作業の開始から終了までの流れは以下の通りです。

作業/操作場所	作業内容	参照ページ
---------	------	-------

始業時作業

製品本体（正面右側）	主電源スイッチを【OFF】から【ON】に切り替え、電源を入れます。	 「製品を起動する」 26 ページ
製品本体（正面） 操作パネル	給水タンクに水を入れます。	 「給水する」 26 ページ



DFP 製紙作業

製品本体（左側面）	カバー A を開け、紙片を投入します。	 「紙片を投入する」 27 ページ
-----------	---------------------	---



製品本体（正面） 操作パネル	製紙設定をします。	 「製紙設定をする」 27 ページ
-------------------	-----------	--



製品本体（正面） 操作パネル	 をタップして、製紙を開始します。	 「製紙を開始する」 28 ページ
-------------------	--	--



製品本体（正面） 操作パネル	細断紙片の残量が少なくなると、本機は自動で製紙を停止します。 運転が停止したら生成された DFP を取り出します。	 「製紙を停止する」 29 ページ
-------------------	--	--

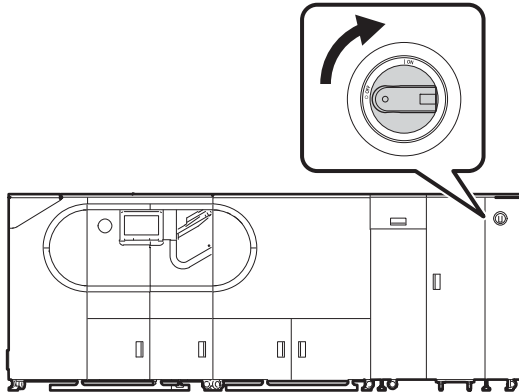


終業時作業

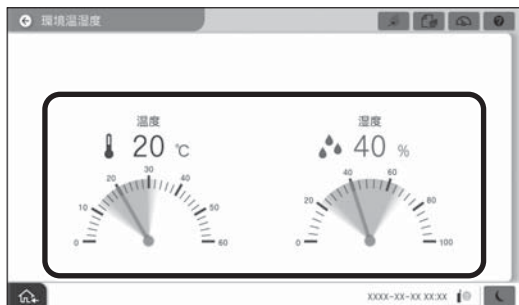
製品本体（正面） 操作パネル	給水タンクに残った水を捨てます。	 「製品を停止する（終業時の停止）」 30 ページ
操作パネル 製品本体（正面右側）	ホーム画面で【MENU】 - 【電源を切る】の順にタップして、終了処理を開始します。終了処理が完了したら、主電源スイッチを【ON】から【OFF】に切り替え、電源を切ります。	

製品を起動する

主電源スイッチを【OFF】から【ON】に切り替え、電源を入れます。



本機が起動したら、ホーム画面で  をタップして、現在の環境が推奨環境範囲内か確認します。



推奨環境範囲から外れている場合は、使用環境の温度・湿度を調整してください。

 [「本体仕様」47 ページ](#)

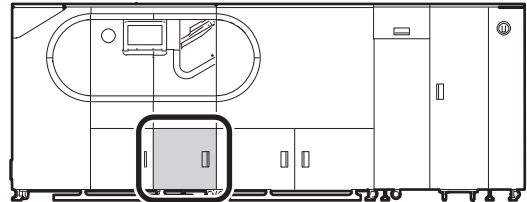
参考

- 使用環境の温度・湿度が動作環境範囲から外れている場合、製紙を開始できません。
- 製紙中に使用環境の温度・湿度が動作環境範囲から外れた場合、本機は製紙を停止します。
- 使用環境の湿度が低い場合、 をタップしてから製紙が開始するまでに最長 15 分程度かかることがあります。

給水する

製品内の加湿のため、製品の起動時に、給水タンクに水を入れます。

給水タンク内の水は毎日交換してください。

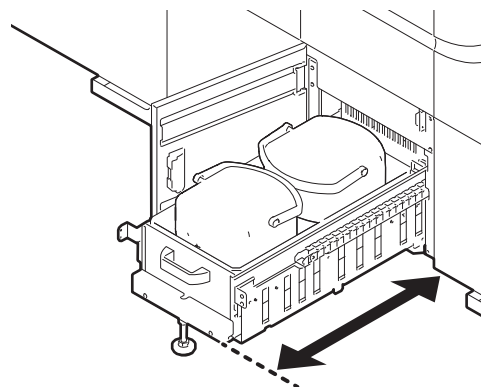


操作方法

ホーム画面で [MENU] - [機器のお手入れ] - [給水方法の確認] の順に選択して、表示されるガイダンスに従って給水してください。

！重要

- 新しい水道水以外は使用しないでください。製品が故障するおそれがあります。
- 給水タンクトレイを勢いよく引き出したり戻したりしないでください。製品が故障する、指を挟む、水がこぼれるなどのおそれがあります。
- 給水タンクの蓋はしっかりと閉めてください。水がこぼれるおそれがあります。
- 給水タンクを落とさないようにしてください。タンクが壊れたり、水が漏れたりするおそれがあります。
- 給水タンクトレイの動きが悪くなったり完全に引き出しきれなくなったりしたときは、給水タンクトレイにゆっくり力を加えて全開にしてください。
- 給水タンクトレイは引き出している途中で止めないようにしてください。

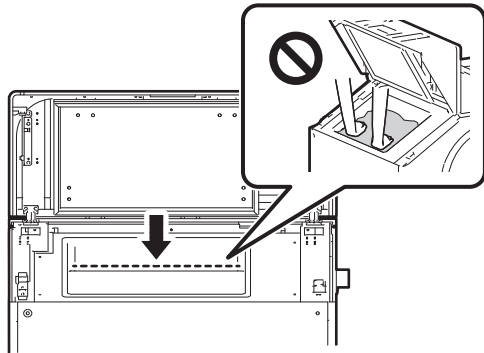


紙片を投入する

カバー A を開けて細断紙片を投入します。
投入量の目安は紙片回収袋 約 1 袋分です。

！重要

- Q-40 の細断紙片以外は投入しないでください。
☞ 「使用できる細断紙片」 13 ページ
- 細断紙片を押し込まないでください。
- 細断紙片を給紙口の枠より上に入れないでください。



- 紙以外の素材や、再生に適さない用紙が混ざった紙片を投入しないでください。
☞ 「Q-40 に投入してはいけないもの」 13 ページ
もし投入してしまった場合は、手袋を着用して、紙片をできる限り取り出してください。取り出せない場合はコールセンターに連絡してください。

☞ 「お問い合わせ先」 53 ページ

- スマートフォンや指輪などの小物を本機内部に落とさないでください。紙片以外のものを製品に投入してしまった状態で製品を稼働させた場合、製品が故障するおそれがあります。
本機内部に紙片以外のものを落としてしまった場合は、手袋を着用し、落としたものを取り出してください。取り出せない場合はコールセンターに連絡してください。

☞ 「お問い合わせ先」 53 ページ

参考

- 紙片の投入手順は操作パネルの  をタップして表示されるガイダンスでも確認できます。
- 給紙口の枠まで紙片が投入されていない状態でも製紙を開始できますが、給紙口の枠の位置まで紙片を投入した場合と比べて規格外 DFP の割合が増えることがあります。

製紙設定をする

操作パネルから、製紙する用紙種類や製紙の枚数を設定します。

用紙種類の選択

〔用紙種類〕は〔普通紙〕または〔厚紙〕を選択できます。

厚紙選択時のご注意

〔用紙種類〕で〔厚紙〕を選択したときは以下にご注意ください。

- 製紙開始前にカバー B を開けてください。カバー B を開けていないと紙が詰まるおそれがあります。
- 厚紙は合紙機能に対応していません。

用紙種類の設定方法

- 1 ホーム画面の〔製紙設定〕をタップします。



- 2 〔用紙種類〕で〔普通紙〕または〔厚紙〕を選択します。

製紙枚数の設定方法

必要な枚数だけ製紙したいときに設定します。

- 1 ホーム画面の【製紙設定】をタップします。



- 2 【枚数指定】を【オン】にして、製紙する枚数を設定します。



参考

【枚数指定】を【オン】、【オフ】のどちらに設定していても、投入した細断紙片の残量が少なくなると自動で製紙を停止します。

製紙を開始する

製紙前の確認

製紙を開始する前に、本機の状態を確認します。

- カバーの確認
 - 用紙種類が普通紙のとき
カバーが全て閉じていること
 - 用紙種類が厚紙のとき
カバー B のみが開いていること
- 上排紙トレイ・下排紙トレイの上に何も無いこと

！重要

上排紙トレイ・下排紙トレイ上に前回製紙した DFP を残したまま製紙を開始しないでください。

運転開始

製紙を開始するには、ホーム画面で  をタップします。



確認画面が表示されたら【はい】を選択してください。



製紙準備中画面が表示されたあと、製紙が開始します。

！重要

- 製紙中は排紙トレイの DFP に触らないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。
- 製紙中は排紙トレイを手で塞がないでください。

DFP の排紙

- 生成された DFP は下排紙トレイに排紙されます。用紙種類を「普通紙」に設定していると、10 枚ずつ排紙されます。「厚紙」に設定していると 1 枚ずつ排紙されます。
- 規格外の DFP は上排紙トレイに排紙されます。
規格外の DFP とは、製紙開始後・終了直前に生じる数十枚ほどの紙のことです。また、規格外 DFP は製紙開始後・終了直前以外にも厚みの異常カットやカット不良が検出されたときに上排紙トレイに排紙されます。通常の DFP と比べて用紙の厚みがばらついたり、用紙端ががたついたりしています。

！重要

規格外の DFP を以下の用途に使用しないでください。

- プリンターの印刷用紙として使用する
- Q-40 で細断する（DFP の材料にする）

製紙を停止する

細断紙片の残量が少なくなると、本機は自動で製紙を停止します。また、必要な枚数を製紙した後に自動で運転を停止するように設定できます。

🔗 [「製紙枚数の設定方法」28 ページ](#)

運転が停止したら DFP をトレイから取り除いてください。

製紙をキャンセルする

製紙をキャンセルするには、ホーム画面で  をタップします。

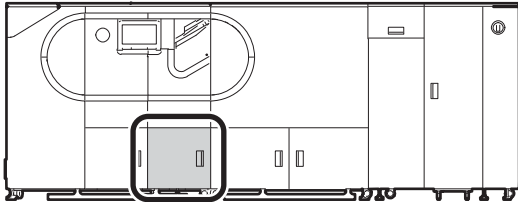


製紙停止中画面が表示されます。停止動作が終わったら、完了画面が表示されます。

運転が停止したら DFP をトレイから取り除いてください。

製品を停止する（終業時の停止）

1 給水タンク内に残った水を全て捨てます。

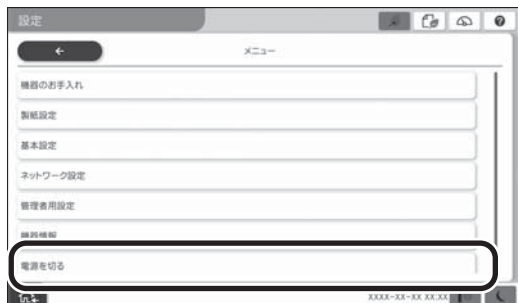


！重要

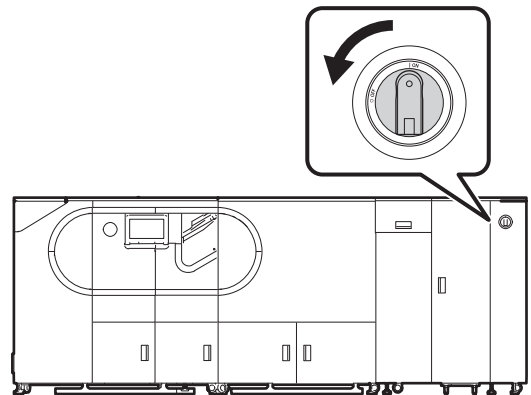
- 給水タンクトレイを勢いよく引き出したり戻したりしないでください。製品が故障する、指を挟む、水がこぼれるなどのおそれがあります。
- 給水タンクの蓋はしっかりと閉めてください。水がこぼれるおそれがあります。
- 給水タンクを落とさないようにしてください。タンクが壊れたり、水が漏れたりするおそれがあります。

2 ホーム画面で【MENU】 - 【電源を切る】の順にタップします。

終了処理が開始されます。



3 終了処理完了画面が表示されたら、主電源スイッチを【ON】から【OFF】に切り替え、電源を切ります。



メンテナンス

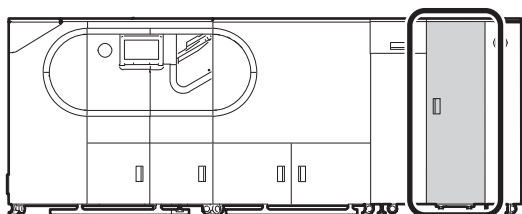
メンテナンス作業と作業頻度

最適なパフォーマンスを維持するためには定期的なメンテナンスが必要です。

メンテナンス項目	作業内容	作業頻度	参照ページ
給水	製品内の加湿のため、製品の起動時に、給水タンクに水を入れます。 • 終業時には給水タンクに残った水を全て捨ててください。 • 給水タンク内の水は毎日交換してください。	• 毎日 • メッセージが表示されたとき	 「給水する」26 ページ
メンテナンスバッグの交換（紙粉の回収）	メンテナンスバッグを交換し、たまった紙粉を清掃します。	メッセージが表示されたとき	 「メンテナンスバッグを交換する（紙粉の回収）」32 ページ
通風口フィルターの清掃	通風口のフィルターについた紙粉やホコリを清掃します。	• メッセージが表示されたとき • 製紙稼働 40 時間に 1 度	 「通風口フィルターを清掃する」32 ページ
磁石ユニットの清掃（金属片回収磁石の清掃）	磁石ユニットに付いたクリップやホチキスの針などの金属片を取り除きます。	• メッセージが表示されたとき • 製紙稼働 40 時間に 1 度	 「磁石ユニットを清掃する（金属片回収磁石の清掃）」34 ページ
水回りの清掃	給水タンクや排水タンクなどの水回りを清掃します。	• メッセージが表示されたとき • 2 週間に 1 度	 「水回りを清掃する」34 ページ
ペーパープラスカートリッジの交換	ペーパープラスの残量が不足した場合に、新しいペーパープラスリフィルパックをセットし、ペーパープラスカートリッジを交換します。	メッセージが表示されたとき	 「ペーパープラスカートリッジの交換」36 ページ
長期停止前の準備	長期間稼働させない場合に、本機内の水を全て排水します。	本機を 1 週間以上使用しないとき	 「長期停止前の準備」35 ページ
定期メンテナンス	サービスエンジニアがお伺いし、定期交換部品の交換、各種清掃等を実施します。定期メンテナンスのメッセージが表示されたら、コールセンターに連絡してください。	メッセージが表示されたとき	 「お問い合わせ先」53 ページ

メンテナンスバッグを交換する（紙粉の回収）

メンテナンスバッグを交換し、たまった紙粉を清掃します。



用意するもの



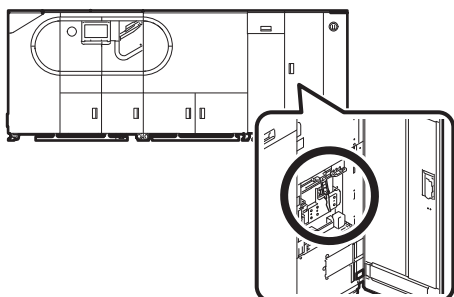
- メンテナンスバッグ
- 保護メガネ
- マスク
- 手袋
- 水で濡らして固く絞った布、または粉じん爆発安全対策仕様の電気掃除機

交換方法

ホーム画面で [MENU] - [機器のお手入れ] - [紙粉の回収] の順に選択して、表示されるガイダンスに従って交換してください。

⚠ 注意

- 交換時は保護メガネ、マスク、手袋を着用して、紙粉を吸い込まないように注意してください。
- レバー類は注意して操作してください。
レバーを勢いよく操作すると、指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

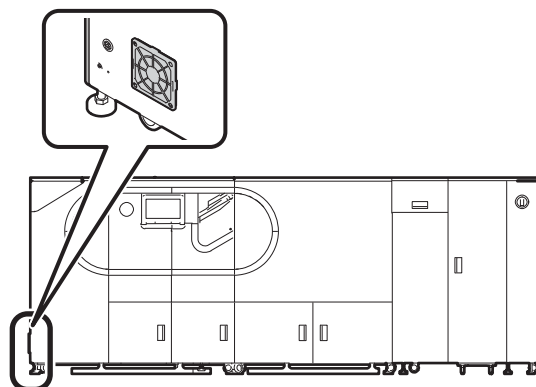


！重要

- 本製品専用のメンテナンスバッグをお使いください。
- メンテナンスバッグのトレイを勢いよく引き出したり戻したりしないでください。製品が故障する、指を挟む、紙粉がこぼれるなどのおそれがあります。
- メンテナンスバッグを交換するときに、紙粉が舞わないように注意してください。
- 紙粉がこぼれてしまった場合は、水で濡らして固く絞った布で紙粉を拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉じん爆発安全対策仕様の電気掃除機を使用してください。

通風口フィルターを清掃する

通風口のフィルターについての紙粉やホコリを清掃します。



通風口のフィルターに紙粉やホコリがたまると、本機内に熱がこもり、本機に悪影響を及ぼすおそれがあります。

ホーム画面に通知が表示されたときか、1 週間に 1 回を目安に清掃してください。

用意するもの

電気掃除機（家庭用の掃除機で問題ありません）

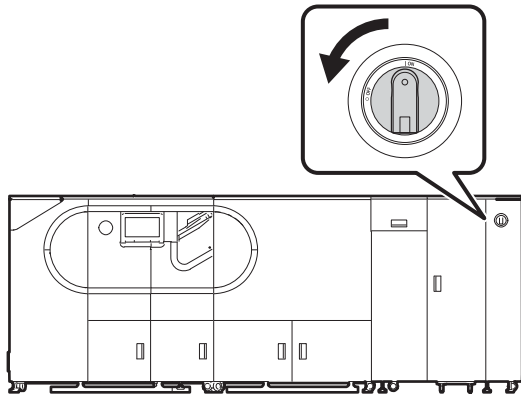
清掃方法

1 製品を停止します。

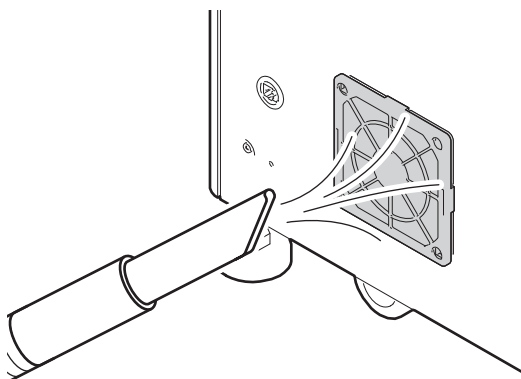
ホーム画面で【MENU】 - 【電源を切る】の順にタップして、終了処理を開始します。



終了処理が完了したら、主電源スイッチを【ON】から【OFF】に切り替え、電源を切ります。

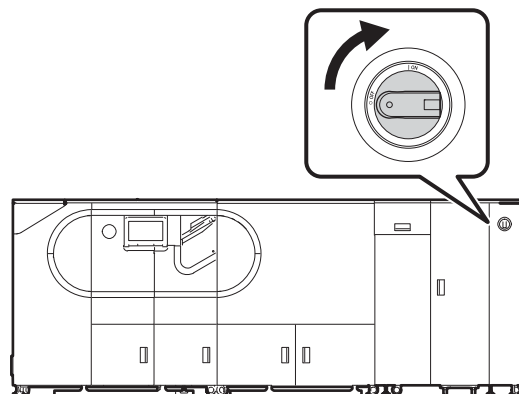


2 フィルターの表面に付いている紙粉やホコリを掃除機で吸い取ります。



3 製品を起動します。

主電源スイッチを【OFF】から【ON】に切り替え、電源を入れます。

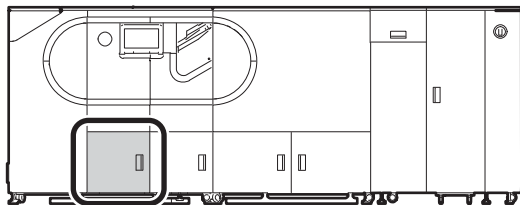


4 ホーム画面で【MENU】 - 【機器のお手入れ】 - 【通風口の清掃】の順にタップします。【完了】をタップして、画面の指示に従って操作します。



磁石ユニットを清掃する (金属片回収磁石の清掃)

磁石ユニットに付いたクリップやホチキスの針などの金属片を取り除きます。



ホーム画面に通知が表示されたときか、2週間に1回を目安に清掃してください。

⚠ 警告

磁石ユニットには強力な磁石が使用されています。心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、磁石ユニットに近付かないでください。また、磁石ユニットを取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。電波妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。

⚠ 注意

磁石ユニットには強力な磁石が使用されています。磁気カードなどの磁気記憶媒体や、コンピューター、電子腕時計、携帯電話などの精密電子機器を磁石ユニットに近付けないでください。データの破損や故障の原因となる可能性があります。

! 重要

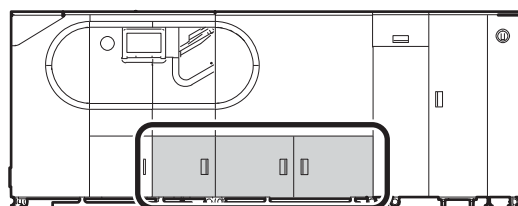
清掃時は手袋を着用して、金属片（クリップやホチキス）で手を切らないように注意してください。

参考

磁石ユニットの内部カバーに紙粉が付いているときは、水で濡らして固く絞った布で紙粉を拭き取ってください。

水回りを清掃する

給水タンクや排水タンクなどの水回りを清掃します。



給水タンクや排水タンク内で雑菌が繁殖するのを防止するため、2週間に1回を目安に清掃してください。

用意するもの

乾いた柔らかい布（水気を拭き取るための布、水分の受け皿にするための布）

清掃方法

ホーム画面で [MENU] - [機器のお手入れ] - [水回りの清掃] の順に選択して、表示されるガイダンスに従って清掃してください。

⚠ 警告

加湿ディスクには強力な磁石が使用されています。心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、加湿ディスクの清掃を実施しないでください。また、加湿ディスクを取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。電波妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。

用意するもの



- 手袋
- 水で濡らして固く絞った布

清掃方法

ホーム画面で [MENU] - [機器のお手入れ] - [金属片回収磁石の清掃] の順に選択して、表示されるガイダンスに従って清掃してください。

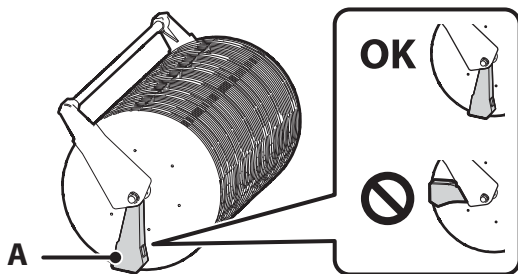
⚠ 注意

加湿ディスクには強力な磁石が使用されています。磁気カードなどの磁気記憶媒体や、コンピューター、電子腕時計、携帯電話などの精密電子機器を加湿ディスクに近付けないでください。データの破損や故障の原因となる可能性があります。

! 重要

- 給水タンクトレイ・排水タンクトレイや加湿ユニットを勢いよく引き出したり戻したりしないでください。製品が故障する、指を挟む、水がこぼれるなどのおそれがあります。
- 給水タンク・排水タンクや加湿ディスクを落とさないようにしてください。タンクが壊れたり、水が漏れたりするおそれがあります。
- 加湿ディスクのフロートは、通常、加湿ユニットから加湿ディスクを持ち上げたときに自動で下に移動します。加湿ディスクを持ち上げたときにフロートが下に移動していない場合は、フロートが動かないか試してください。フロートが全く動かない場合は、メンテナンスを中止して、コールセンターに連絡してください。

📞 「お問い合わせ先」 53 ページ



A: フロート (加湿ディスク)

長期停止前の準備

長期間稼働させない場合に、本機内の水を全て排水します。

目安として、本機を 1 週間以上使用しない場合は本作業が必要です。

用意するもの

乾いた柔らかい布

準備手順

ホーム画面で [MENU] - [機器のお手入れ] - [長期停止の準備] の順に選択して、表示されるガイダンスに従って操作してください。

! 重要

- 給水タンクトレイ・排水タンクトレイを勢いよく引き出したり戻したりしないでください。製品が故障する、指を挟む、水がこぼれるなどのおそれがあります。
- 給水タンク・排水タンクを落とさないようにしてください。タンクが壊れたり、水が漏れたりするおそれがあります。

ペーパープラスカートリッジの交換

ペーパープラスカートリッジ・ペーパープラスリフィルパック交換時のご注意

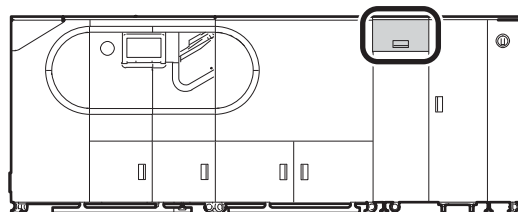
⚠ 注意

ペーパープラスカートリッジ・ペーパープラスリフィルパックは振らないでください。
振ったり振り回したりすると、ペーパープラス（結合素材）が漏れるおそれがあります。
誤って振ってしまった場合は、安定した場所に置いて3分以上放置してください。

- 使用しているペーパープラスカートリッジが空になったときは、速やかにペーパープラスリフィルパックを補充してください。
- 新しいペーパープラスリフィルパックがお手元にない場合は、交換するまで、中身が空になったペーパープラスカートリッジを本機に装着したままにしてください。ペーパープラスカートリッジを装着していない状態で本機を放置すると、故障の原因となります。
- ペーパープラスカートリッジの交換は、本製品の電源が入っている状態で行ってください。
- ペーパープラスカートリッジ・ペーパープラスリフィルパックを交換するときは、保護メガネ、マスク、手袋などを着用してください。
- ペーパープラスリフィルパックは交換するまで開封しないでください。本書の指示に従って開封してください。
🔗 [「ペーパープラスリフィルパックを交換する」38ページ](#)
- 以下のような場所でペーパープラスカートリッジ・ペーパープラスリフィルパックの交換を行わないでください。
 - ・水に濡れやすい場所
 - ・湿度の高い場所
 - ・火花の出やすい場所
 - ・近くに食品や飲料を保存している場所
- 廃棄する場合は、可燃性の廃棄物として、必ず法令や地域の条例・自治体の指示に従って廃棄してください。

ペーパープラスカートリッジを交換する

ペーパープラスカートリッジを交換し、DFP を生成するためのペーパープラス（結合素材）を補充します。



ペーパープラスの残量が不足すると、操作パネルにメッセージが表示されます。



速やかにペーパープラスリフィルパックを補充してください。

！重要

ペーパープラスカートリッジは、メッセージが表示されたとき以外は交換しないでください。

参考

交換手順は操作パネルのメッセージをタップして表示されるガイダンスでも確認できます。

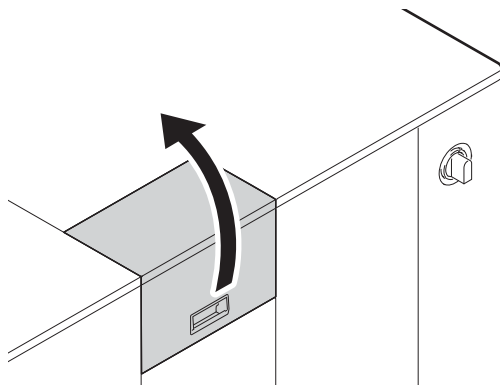
用意するもの



- ペーパープラスリフィルパック
- 保護メガネ
- マスク
- 手袋
- 作業時に下に敷くもの（紙ウエスなど）
- 水で濡らして固く絞った布
- 粉じん爆発安全対策仕様の電気掃除機

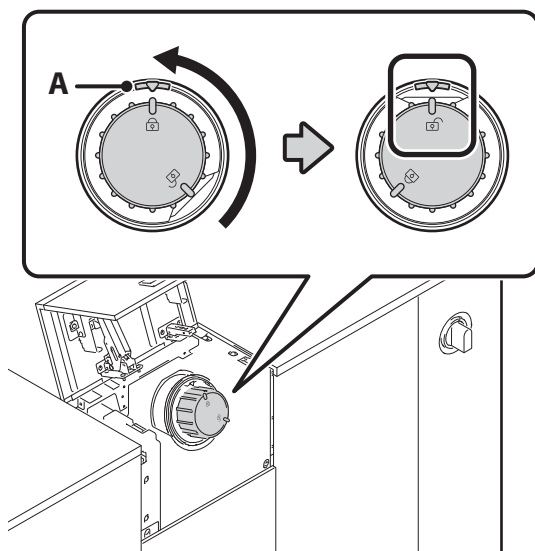
ペーパープラスカートリッジを取り外す

- 1** 保護メガネ、マスク、手袋を着用し、カバー C を開けます。



- 2** ペーパープラスカートリッジを反時計回りに回してロックを解除します。

ロックレバーと  の位置が合うように回します。

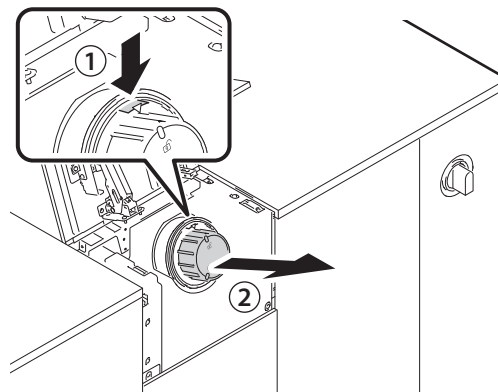


A: ロックレバー

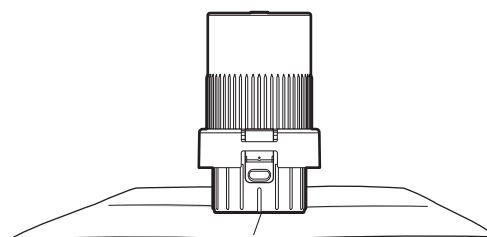
参考

稼働状況によりロックレバーが上側（図のような配置）にないことがあります。ロックレバーの位置を確認してください。

- 3** ロックレバーを押しながらペーパープラスカートリッジを引き抜き、紙ウエスの上に立てます。

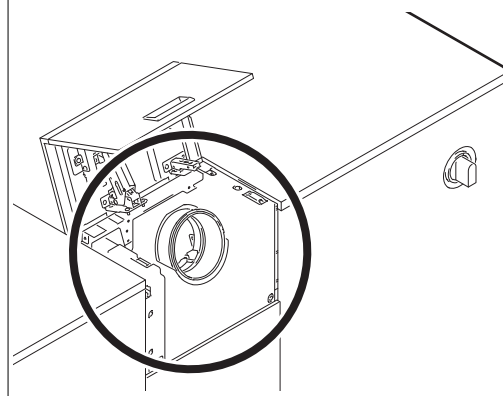


引き抜いたペーパープラスカートリッジは、紙ウエスなどの上に、イラストのように置きます。



参考

カバー C の内側がペーパープラス（結合素材）で汚れている場合は、水で濡らして固く絞った布で拭き取ってください。

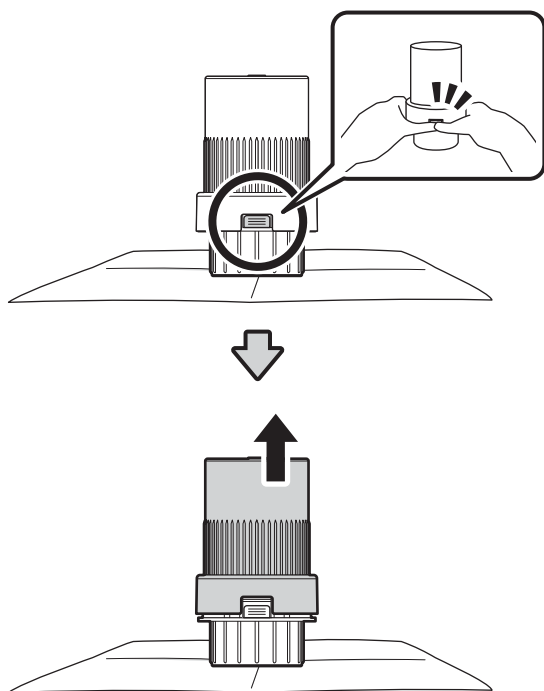


ペーパープラスリフィルパックを交換する

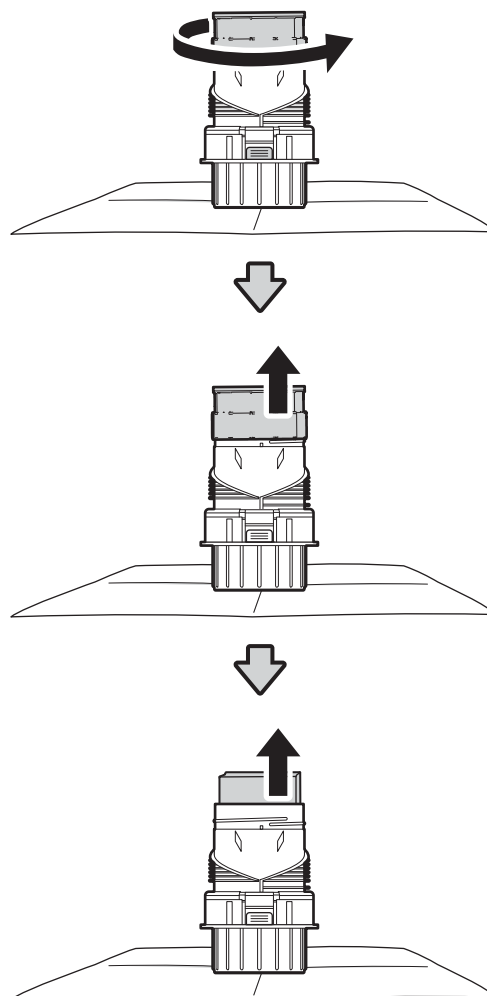
⚠ 警告

ペーパープラスリフィルパックの交換時は、中身が周囲に舞わないように注意してください。
ペーパープラス（結合素材）がこぼれた場合は、ほうきで掃除するか、水で濡らして固く絞った布で拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉じん爆発安全対策仕様の電気掃除機を使用してください。

- 1 保護メガネ、マスク、手袋を着用し、ペーパープラスカートリッジのロックを押してから、カバーを取り外します。

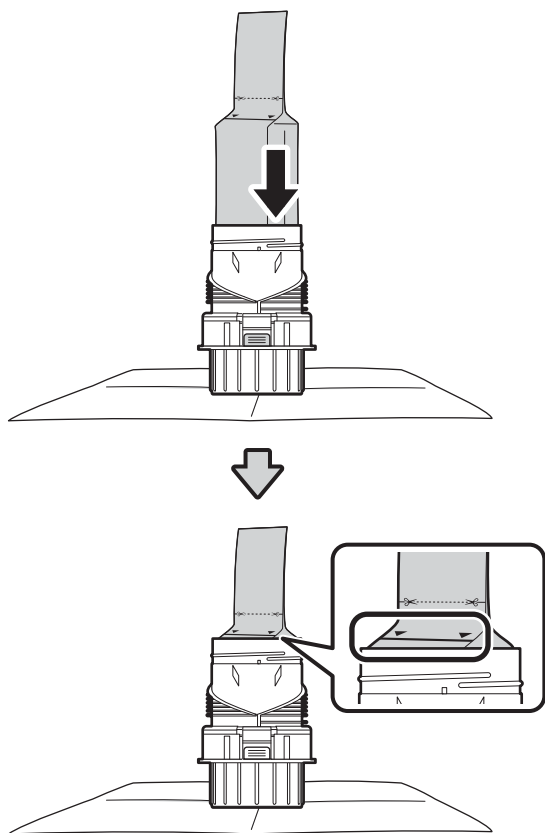


- 2 内ぶたを外してから、空のペーパープラスリフィルパックを取り出します。



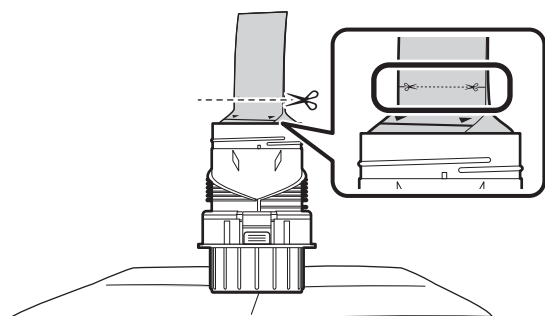
空のペーパープラスリフィルパックは必ず法令や地域の条例・自治体の指示に従って廃棄してください。

- 3** 新しいペーパープラスリフィルパックの線をペーパープラスカートリッジのフチに合わせてセットします。

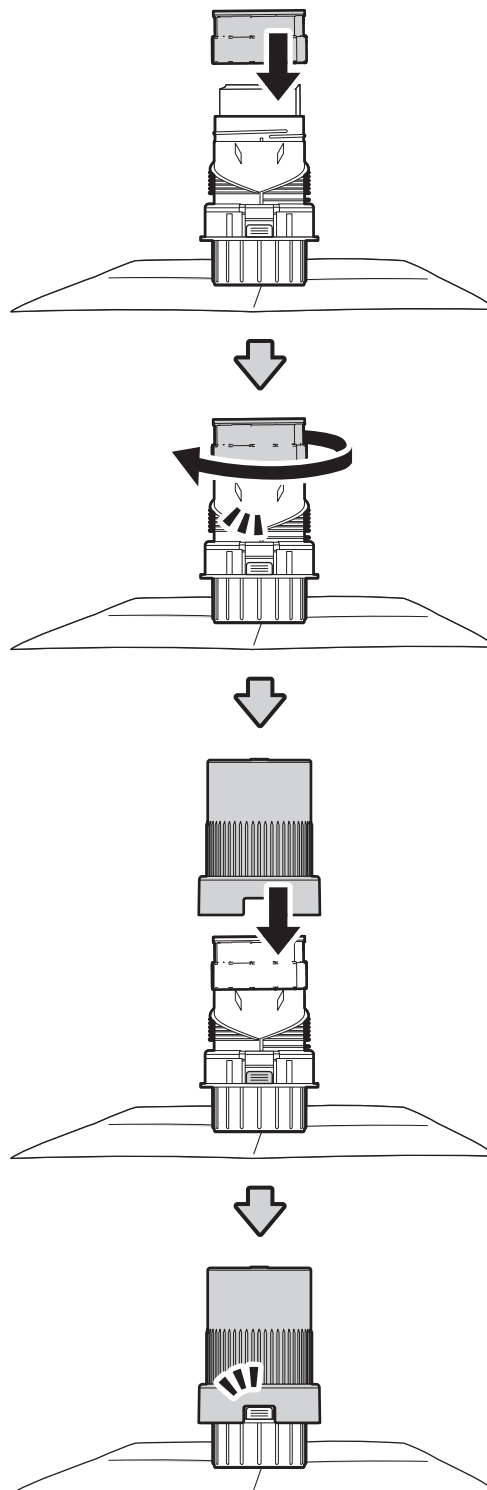


- 4** ペーパープラスリフィルパックの破線部分をハサミでカットします。

周囲に中身が舞わないように注意してください。

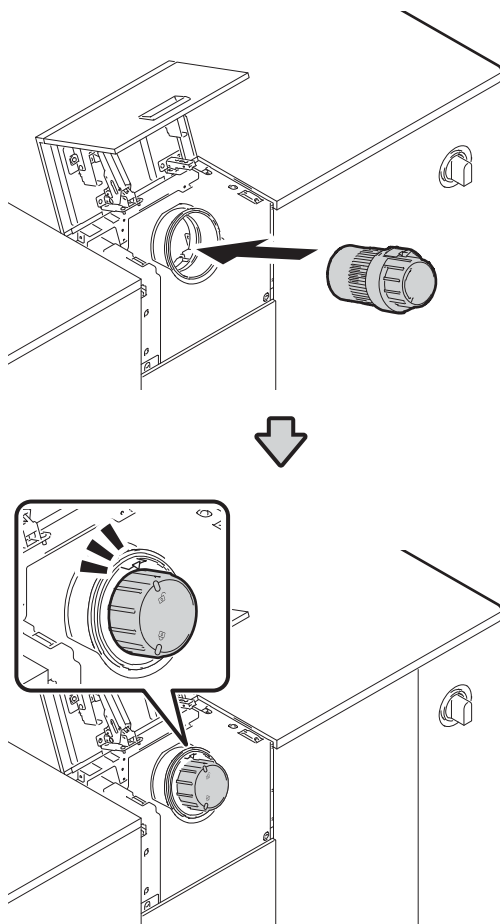


- 5** 中ぶたとカバーをペーパープラスカートリッジに取り付けます。

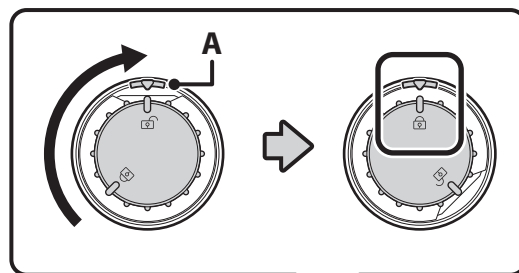


ペーパープラスカートリッジを取り付ける

- 1 ペーパープラスカートリッジを元の位置に戻し、奥まで押し込んでから時計回りに回してロックします。



ロックレバーと  の位置が合うように回します。

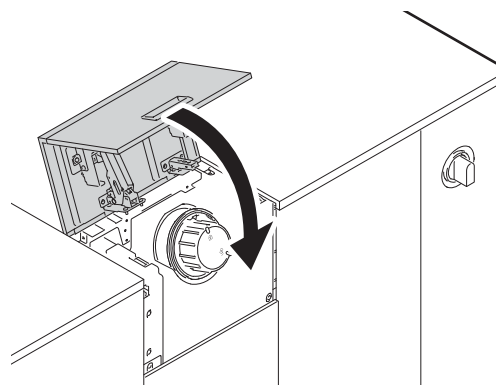


A: ロックレバー

参考

稼働状況によりロックレバーが上側（図のような配置）にないことがあります。ロックレバーの位置を確認してください。

- 2 カバー C を閉めます。



- 3 操作パネルのエラーメッセージで、【完了】をタップします。

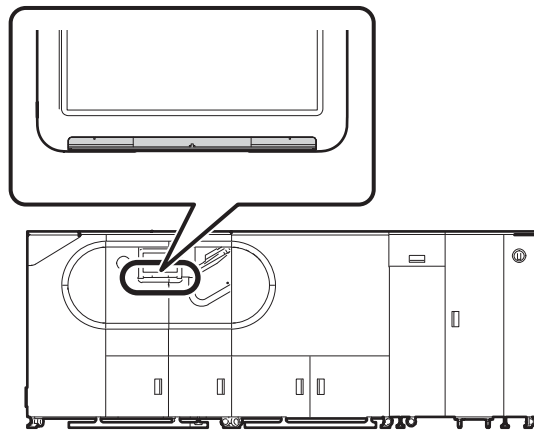


こんなときには

エラーメッセージが表示された

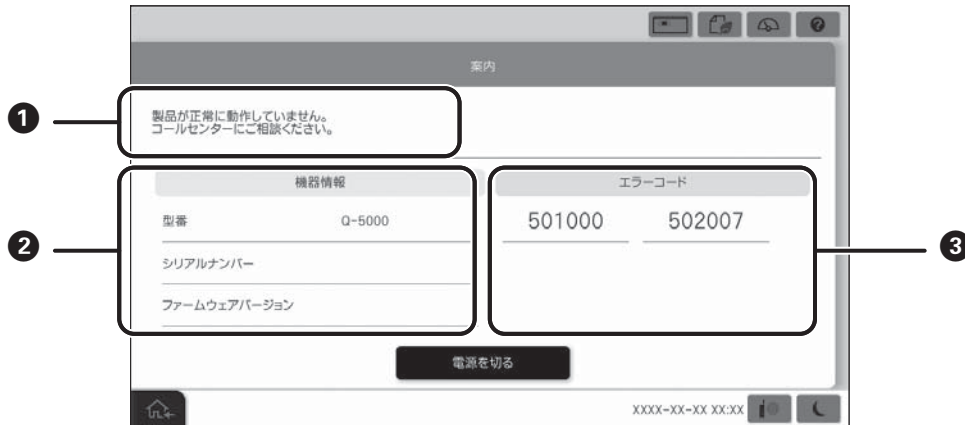
稼働中にエラーが発生したときは、状態表示ランプが点灯し、操作パネルにエラーメッセージが表示されます。

状態表示ランプの意味



ランプの色	ランプの状態	意味	対応内容
緑色	点滅	ワーニング	メンテナンスが必要な状態です。 操作パネルの内容に従って対応してください。
黄色	点滅	エラー	エラーが発生している状態です。 操作パネルの内容に従って対応してください。
黄色	点灯	フェイタルエラー	本機が正常に動作していない状態です。 - 本機を再起動してください。 ☞ 「製品を停止する（終業時の停止）」 30 ページ ☞ 「製品を起動する」 26 ページ - 本機を再起動しても解決しない場合や、フェイタルエラーが繰り返し発生する場合は、パネルに表示された機器情報とエラーコードを控え、コールセンターに連絡してください。 ☞ 「お問い合わせ先」 53 ページ
赤色	点灯	サービスコールエラー	本機が正常に動作していない状態です。サービスエンジニアによる確認が必要です。パネルに表示された機器情報とエラーコードを控え、コールセンターに連絡してください。 ☞ 「お問い合わせ先」 53 ページ

エラーの表示の見方



記号	名称	説明
①	エラーメッセージ	エラーの内容と対処方法が表示されます。記載された案内に従って対処してください。
②	機器情報	お使いの機器の情報が表示されます。
③	エラーコード	エラーに応じた番号のコードが表示されます。コールセンターに連絡する際は、この番号を必ず伝えてください。

エラーメッセージの対処方法

操作パネルにエラーメッセージが表示された場合は、画面の指示に従ってエラーを解決してください。ネットワーク設定やファームウェアに関するエラーメッセージの場合は以下の対処方法に従ってください。

アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。詳しくはマニュアルをご覧ください。(Q-5000のみ)

IP アドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。正しい値がわからない場合は、本機の管理者か、ネットワークを設定した方に確認してください。

EPSON DEVICE Recovery Mode Update Firmware

ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。
以下の手順でもう一度アップデートをしてください。

1 コンピューターと本機を **USB** ケーブルで接続します。

！重要

- リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません。
- USB ケーブルは、USB2.0 タイプ A-B またはタイプ C-B を使用します。

2 エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをコンピューターにダウンロードしてアップデートを開始します。

トラブルシューティング

電源のトラブル

電源が入らない

電源プラグがコンセントから抜けていませんか？

電源プラグの差し込みが浅くないか、斜めになっていないかを確認し、しっかりと差し込んでください。

電源コードが破損していませんか？

破損した電源コードを使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

電源コードが破損したときは、コールセンターに連絡してください。

主電源スイッチは【ON】になっていますか？

- 主電源スイッチが【ON】になっていることを確認してください。

- 主電源スイッチが【ON】の位置になるまで、時計回りにしっかり回してください。

🔗 [「製品を起動する」26 ページ](#)

製紙のトラブル

DFP が詰まった

DFP が本体内部に詰まったときは、製紙が停止され、エラーメッセージが表示されます。メッセージ内の【案内を見る】をタップし、表示されたガイダンスに従って詰まった DFP を取り除いてください。

ガイダンスに表示された箇所全てで、詰まった DFP がいないか確認してください。

！重要

- サービスコールエラーが表示された場合は、コールセンターに連絡してください。
🔗 [「お問い合わせ先」53 ページ](#)
- エラーメッセージが表示されたときは、DFP が詰まった状態で放置しないでください。

参考

詰まった DFP を取り除くには、本製品に添付されている用紙除去棒が必要です。

🔗 [「内部（メンテナンス）」17 ページ](#)

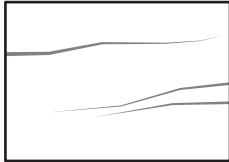
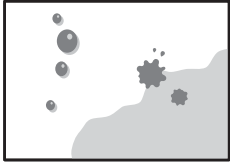
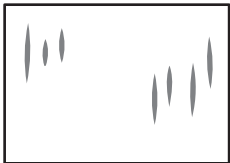
トラブルが解消されない場合は、コールセンターに連絡してください。

🔗 [「お問い合わせ先」53 ページ](#)

生成された DFP の状態がおかしい

下排紙トレイに以下のような症状の DFP が排紙されたときはコールセンターに連絡してください。

そのまま使用すると、故障に繋がるおそれがあります。

紙が折れている	紙に水滴跡が付いている
	
紙が破れている	紙に傷跡が付いている
	

製紙が予定よりも早く停止してしまっ

製紙中に使用環境の温度・湿度が適正使用環境範囲から外れた場合、本機は製紙を停止します。

操作パネルの内容に従って、使用環境の温度・湿度を調整してください。

📞 「本体仕様」 47 ページ

参考

製紙中に使用環境の温度・湿度が適正使用環境範囲から外れそうになった場合、操作パネルにメッセージが表示されます。そのままの状態でも製紙を継続できますが、早めに使用環境の温度・湿度を調整することをおすすめします。

その他のトラブル

製紙中のおいが気になる

製紙中ににおいが発生して気分が悪くなったときは、部屋の換気をしてください。換気後もにおいが気になる場合はコールセンターに連絡してください。

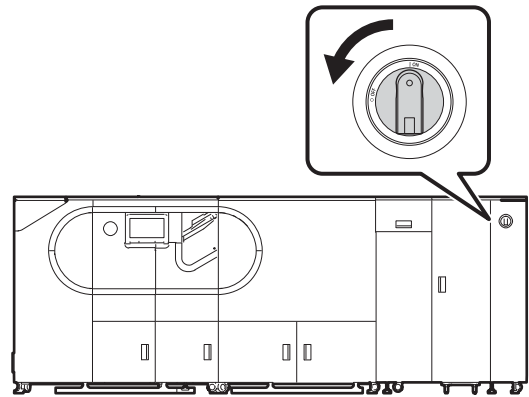
📞 「お問い合わせ先」 53 ページ

緊急時の停止

緊急時は主電源スイッチを【OFF】に切り替えて本機の動作を停止してください。次に、電源プラグをコンセントから抜いて電源を完全に遮断してください。

本機の停止後はコールセンターに連絡してください。

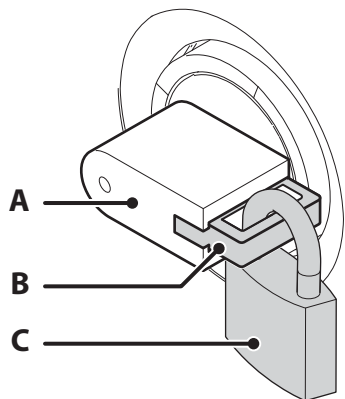
📞 「お問い合わせ先」 53 ページ



主電源スイッチをロックする

許可なく主電源スイッチを【ON】に切り替えることを防ぐには、南京錠を使って【OFF】の位置でロックします。

- 1 主電源スイッチが【OFF】の状態であることを確認します。
- 2 ロックプレートを押し込みます。
- 3 飛び出したロックプレートの中心の穴に南京錠を通します。次に、南京錠を施錠します。



A: 主電源スイッチ
B: ロックプレート
C: 南京錠

ファームウェアを更新する

ファームウェアを更新すると機能の改善や追加などができます。最新版のファームウェアをお使いください。

操作パネルを使ってファームウェアを更新する

- 1 ホーム画面で【MENU】 - 【管理者用設定】 - 【ファームウェアのアップデート】 - 【アップデート】の順にタップします。

参考

新しいファームウェアがあるかどうか定期的に確認したいときは、【通知設定】 - 【オン】の順に選択します。

- 2 画面に表示されるメッセージを確認して、利用可能なアップデートの検索を開始します。
- 3 新しいファームウェアが見つかりましたというメッセージが表示されたら、画面の指示に従ってファームウェアを更新します。

！重要

- 更新中は本機の電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
- ファームウェアの更新に失敗すると、次回電源を入れたときに「Recovery Mode」（リカバリーモード）と表示され、本機が動かなくなります。以下をご覧ください。

🔗 [「インターネットに接続しないでファームウェアをアップデートする」46 ページ](#)

インターネットに接続しないで ファームウェアをアップデート する

エプソンのウェブサイトから本機用のファームウェアをダウンロードし、USB ケーブルで接続してアップデートすることもできます。ネットワーク経由でアップデートができない場合に、この方法をお使いください。
市販の USB ケーブル（USB2.0 タイプ A-B またはタイプ C-B）をお使いください。

- 1 エプソンのウェブサイトで最新ファームウェアのリリースを確認します。

<https://www.epson.jp/support/>

本機のファームウェアがあれば、ダウンロードして、次の手順に進みます。

ウェブサイトに本機のファームウェア情報がなければ、すでに最新のファームウェアになっています。

- 2 ファームウェアをダウンロードしたコンピューターと本機を **USB** ケーブルで接続します。

USB ポートはカバー D 内部にあります。

🔗 [「内部（メンテナンス）」17 ページ](#)

カバー D を開けて、USB-B ポートに USB ケーブルを差し込んでください。

- 3 ダウンロードした **exe** ファイルをダブルクリックします。

Epson Firmware Updater が起動します。

- 4 画面の指示に従って操作します。

！重要

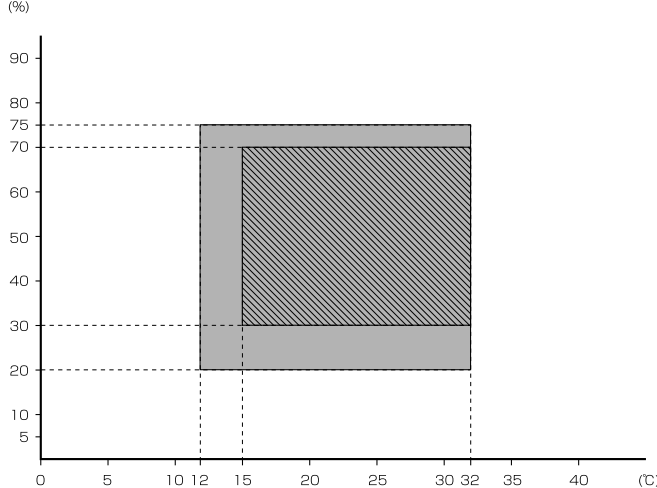
更新中は、コンピューターや本機の電源を切らないでください。

製品仕様

本体仕様

型式			乾式オフィス製紙機
外形寸法			Q-5000 幅:3,340 mm × 奥行:875 mm × 高さ:1,274 mm  「外観と必要スペース」 51 ページ
			Q-5000LTE 幅:3,340 mm × 奥行:1,004 mm × 高さ:1,274 mm  「外観と必要スペース」 51 ページ
設置面積			Q-5000 2.93 m ²
			Q-5000LTE 3.36 m ²
質量			Q-5000 1,065 kg (ペーパープラス (結合素材)、廃粉、水などは含まない)
			Q-5000LTE 1,115 kg (ペーパープラス (結合素材)、廃粉、水などは含まない)
電源仕様	本体	定格電圧	AC (三相 3 線) 200 V 3P+接地極
		入力電圧範囲	±10%
		定格電流	30 A
		短絡電流定格	5 kA
		定格周波数	50/60 Hz ±3%
	消費電力	稼働中平均消費電力値	3.4 kW
騒音			Q-5000 動作時 (製紙時) :63.5 dB (A) 以下
			Q-5000LTE 動作時 (製紙時) :62 dB (A) 以下
生産性	普通紙		1 時間あたり最大 360 枚 (80 g/m ² 相当、A4 サイズ)
	厚紙		1 時間あたり最大 94 枚 (180 g/m ² 相当、A4 サイズ)

製品仕様

使用環境	推奨環境	温度	15℃～32℃
		湿度	30% RH～70% RH（非結露）
	動作環境	温度	12℃～32℃
		湿度	20% RH～75% RH（非結露）
	製紙時は使用環境の温度・湿度を動作環境の範囲内（グラフのグレーの領域内）にしてください。動作環境範囲から外れている場合、製紙を開始できません。また、推奨環境範囲からはずれている場合、製紙はできますが品質が低下します。 グレー部：動作環境 斜線部：推奨環境 		
保管環境		温度	4℃～40℃
		湿度	10% RH～85% RH（非結露）
インターフェイス	USB		Hi-Speed USB
	有線 LAN （Q-5000 のみ）		IEEE802.3i（10BASE-T） IEEE802.3u（100BASE-TX） IEEE802.3ab（1000BASE-T）

！重要

本機は、標高 1,000m 以下でお使いください。

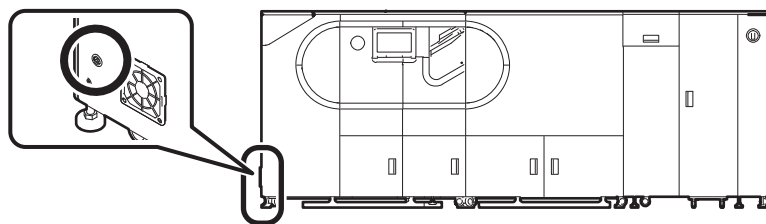
有線 LAN の仕様（Q-5000 のみ）

標準規格	IEEE802.3i（10BASE-T）* IEEE802.3u（100BASE-TX）* IEEE802.3ab（1000BASE-T）*
通信モード	Auto、10 Mbps Full duplex、10 Mbps Half duplex、100 Mbps Full duplex、100 Mbps Half duplex
コネクタ	RJ-45

*：電磁障害のリスク低減のため、STP（シールドツイストペア）ケーブルを使用することを推奨します。

LAN ケーブルを接続する

お使いのルーターと本機を LAN ケーブルで接続してください。



参考

ネットワークの設定内容がわからない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

全ての安全機能のリストと説明

安全機能	説明	参考
カバー A のインターロックによる、危険源へのアクセスに対する保護	カバー A が開いているとき、製紙動作しない。	ISO 13849-1, Category 2 PL:d
カバー D のインターロックによる、危険源へのアクセスに対する保護	カバー D が開いているとき、製紙動作しない。	ISO 13849-1, Category 2 PL:d
カバー E のインターロックによる、危険源へのアクセスに対する保護	カバー E が開いているとき、製紙動作しない。	ISO 13849-1, Category 2 PL:d
カバー J のインターロックによる、危険源へのアクセスに対する保護	カバー J が開いているとき、製紙動作しない。	ISO 13849-1, Category 2 PL:d

外観と必要スペース

単位：mm

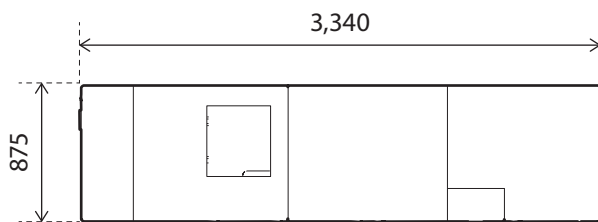
参考

Q-5000LTE では、以下で案内するスペースに加えて、本機上面に LTE 通信用のアンテナが付きます。

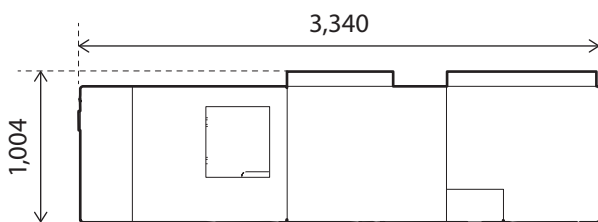
外観

真上から見た図

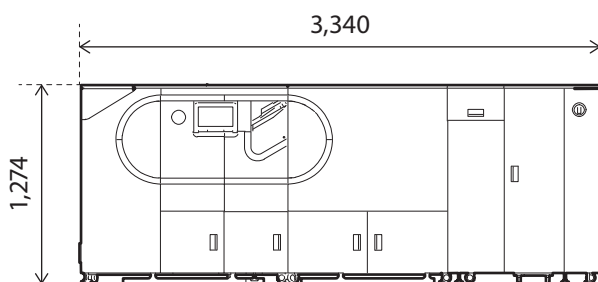
Q-5000



Q-5000LTE



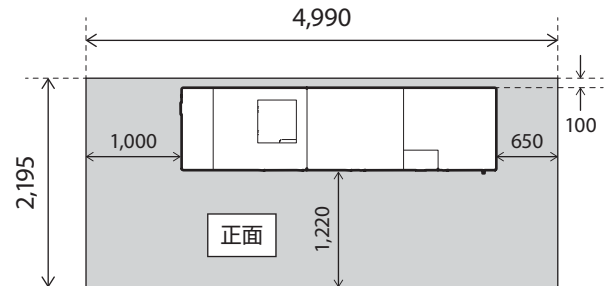
正面から見た図



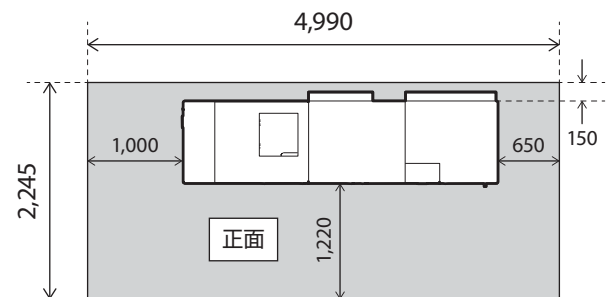
必要スペース

真上から見た図

Q-5000



Q-5000LTE



本製品を移動/輸送するときは

本製品を移動/輸送するときは、コールセンターに連絡してください。

[🔗 「お問い合わせ先」 53 ページ](#)

警告

お客様による移動/輸送はしないでください。

- 製品が転倒するなどにより、けがのおそれがあります。
- ケーブル類が傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。
- 製品の状態が変化するなどにより、性能が保証できなくなるおそれがあります。

消耗品一覧

本製品で利用できる消耗品は以下の通りです。

商品名	型番
ペーパープラス リフィルパック	QRPL01
メンテナンスバッグ	QMB01

オープンソースソフトウェアライセンス

本製品に含まれるオープンソースソフトウェアライセンスは、以下から入手可能です。入手方法は機種により異なります。

Q-5000 の場合

Web Config から入手できます。Web Config の使い方は以下をご覧ください。

[🔗 「Web Config \(Q-5000 のみ\)」 24 ページ](#)

Q-5000LTE の場合

コールセンターに連絡してください。

[🔗 「お問い合わせ先」 53 ページ](#)

お問い合わせ先

コールセンター

電話番号：050-3155-8995

EPSON